

アンケート結果

釧路川流域アンケート調査結果

平成11年2月

北海道開発局 釧路開発建設部

釧路川流域アンケート調査結果

1. アンケート調査の目的

釧路川の整備計画を策定する上で、釧路川流域住民が安全に生活する上で基本となる治水、利水等の整備に対する具体的な要望・意識を把握するとともに、河川環境の整備保全と利用を求める流域住民の具体的なニーズを的確に捉えるために、釧路川流域住民を対象とした「釧路川流域アンケート調査」を実施した。

2. アンケート調査の概要

(1) 調査対象

アンケート調査対象は、釧路川流域の5市町村（釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村）に居住する243,735人（平成8年9月30日生民基本台帳人口）から無作為に抽出した15歳以上の住民とした。

(2) 調査票の配布・回収

配布・回収数等の概要を以下に示す。（ただし、全数での解析にあたっては、各自治体の人口に対する配布数の比率を概ね同率にするため、鶴居村の回収数を補正（1/4）している。従って、鶴居村の補正後の回収数は9票）

配布数	2,060票 (補正 2,000票)	
回収数	釧路市	466票
	釧路町	58票
	標茶町	37票
	弟子屈町	31票
	鶴居村	36票 (補正 9票)
	無回答	2票
	合計	630票 (補正 603票)
回収率	30.5% (補正 30.2%)	

3. アンケート分析結果の概要

(1) 回答者の属性について (1 - (1) ~ (5))

- ・各市町村別の回収率は、釧路市(28.4%)を除き概ね30%を超えており、標茶町では46.3%に達している。
- ・回答者は、男女がほぼ半数ずつ、年齢構成も特定の世代に偏ることなく、あらゆる世代がほぼ均等に散らばっている。
- ・会社員・公務員(31.5%)や主婦(28.9%)からの回答数が全体の6割を占める。
- ・現住地の居住年数が10年以上の世帯が全体の65%を占め、比較的長い。

(2) 釧路川の治水対策について (2 - (1) ~ (4))

- ・現住地における洪水経験者は、全体の6.1%と少なく、現住地が比較的に安全と考える回答者が全体の85%にのぼるなど、治水の安全性への信頼度が高い。
- ・その理由としては、下の大きく次の5つが挙げられており、とりわけ、過去に大きな水害にあったことがないこと(⑤)が、様々な治水対策への信頼度を一層高める結果となっている。
 - ①居住地の高さ
 - ②建物内の居住階・構造
 - ③海・河川等からの距離
 - ④治水施設等の整備状況
 - ⑤過去の経験
- ・逆に、危険を感じる要因としては、海岸や河川に近く、居住地の高さが低いことが挙げられており、地震による津波等への危機感が大きい。また、治水の枠組みに触れ、河川周辺の土地利用や森林保全等、河川行政を超えた抜本的な治水対策の見直しの必要性なども挙げられている。
- ・治水対策としては、ハード・ソフト両面からの取り組みが求められるが、ソフト対策については、非常食料や医薬品等の個人の取り組みによるもの以上に、気象・防災情報等の提供や避難場所・方法等の徹底など地域が取り組むべき課題への関心が高い。
- ・一方、ハード対策としては、築堤や河岸保護工への期待が大きいが、その他の対策と効果への理解が充分ではない可能性が大きく、一概にこれらの整備が求められているというわけではない。

(3) 釧路川の治水対策と環境保全との調和について (2 - (5)、(6))

- ・両者の両立(60.0%)が第1の目標と考えられるが、河川環境の保全が重視(24.2%)される傾向も強く、これが釧路川流域住民の価値観を表す大きな特徴

となっている。

- ・具体的には、樹木の残し方等について、多少の水害等と引きかえにしても樹木を保全すべきとする意見が全体の 53.8%にのぼることからも、自然環境への保全の意識の高さが伺える。

(4) 銀路川の自然環境について (3-(1) ~ (7))

- ・銀路川流域で大切にしたい動植物は、主にタンチョウが挙げられているが、銀路川流域のもつ自然の偉大さとそれに育まれる生物全般が大切であるという基本認識を前提として、その中でも国の特別天然記念物のタンチョウに、特に大切にしたい動植物として挙げられている。
- ・また、銀路川の水質については、水の汚れなどを指摘する回答者が多く (56.9%)、自由回答等から、上流部等の酪農地帯のふん尿や、旧銀路川の水質悪化などが主な要因と考えられているようである。
- ・銀路湿原の乾燥化については、自然のスピードより早く乾燥していると感じている回答者が 34.3%を占めており、周辺土地利用や森林伐採、河川工事など、目に見えるかたちでの河川環境の破壊に対する危機感が現れた結果と解釈できる。
- ・総じて、できる限りの自然環境の保全に対する期待は非常に大きく、湿原の乾燥化防止に対する期待も大きいが、一方で、周辺開発の抑制や、生態系保全と調和する湿原乾燥化対策の構築など、自然環境の保全を優先する考え方は回答者の大半に共通しており、今後の具体的改善策等の動向を見守る姿勢が読みとれる。
- ・銀路川流域の自然環境や景観の改善点として挙げられている意見は、次の4つに整理される。

- ①レクリエーション空間の創出
- ②市街地景観の改善
- ③水質環境の改善
- ④多自然型工法による河川環境の改善

- ・特に、弟子屈町や標茶町では、④の多自然型護岸などへの本辺の復元が強く希望されているほか、旧銀路川への通水など③の水質の改善への期待は極めて大きい。
- ・また、ライフスタイルや家族形態等により異なるが、①のレクリエーション空間の創出等を求める意見もあり、河川環境の改善にあたっては、住民を説得できる明確な意図をもった整備等が求められる。

(5) 銀路川の利用について (4-(1) ~ (5))

- ・銀路川の利用については、花火大会等のイベントでの利用 (36.2%) を除き、全般に利用頻度が低く、年に数回以上利用する割合は、概ね 15%未満である。なかでも、サイクリングやランニング、カヌー・ボート等の利用者は少ない。
- ・利用頻度が低い理由としては、通年的な気温の低さが決定的な要因となっている

ものと考えられる。また、カヌー等については、全国的なメッカとしての知名度に高いが、主な利用者が観光客であることなどが考えらる。

- ・今後充実してほしいものとしては、レジャー全般にわたる施設整備が期待されているが、駐車場やトイレなど、基本的な施設の整備が必要と考える回答者が多い。
- ・しかし、今後の水辺の活用については、今の自然をそのままにした動植物の観察・研究フィールドとするべきという意見や健康づくりや水あそびに活用すべきという意見の2つが突出しており、環境保全や次代の担い手となる子供への環境教育の徹底などへの関心の高さが圧倒的に高いことから、自然環境の保全を基本とする中で、レジャー利用の実現が求められる結果となっている。
- ・また、施設の整備は、河川利用や保全に関わるマナーの徹底が前提とされており、ゴミ捨て等に対する罰則に強化や4WDの温泉への乗り入れ規制等が求められている。

(6) 銀路川の今後のるべき姿について (5-(1))

- ・銀路川流域は、ラムサール条約の指定湿地である銀路湿原や国の特別天然記念物のタンチョウに代表される貴重な自然資源に恵まれており、流域住民にとっては、世界および日本に誇る財産であるという意識が強い。また、銀路川の蛇行する風景や夕陽が換える様は、悠久の自然や時間を感じさせる存在でもあり、流域住民の精神や生活とは切り離せない存在となっている。
- ・銀路川の今後のるべき姿については、このような壮大な自然を背景とし、川と人間社会との関係以上に、貴重な自然の保全に対する関心が高く、魚・鳥・植物などがある自然豊かで水質のきれいな川づくりへの期待が大きいものと考えられる。

4. 自由回答のまとめ

(1) 銀河川の将来像についての意見

銀河川流域は、地域住民にとっての故郷であるという愛着や豊かな自然が残る日本の貴重な財産であるという認識が強く、基本的には手を加えず、蛇行の美しい川の原型を保全することが指向されている。護岸等、既に整備されている部分についても、原風景を想わせる姿への再生が期待されている。

また、銀河川は、人間生活も含めて多くの動植物を育む母なる川であると考えられており、水がきれいな川ということも一つの将来像になっている。

(2) 銀河川の整備方向に関する意見

自然への配慮に欠く従来の開発や整備への反省から、地球的視野にたった生態系の保全と流域住民の安全な暮らしの実現という相反する方向の調和に最も大きな関心があり、最低限の安全性が保障されることを前提に、前者を重視すべきとする意見が多く出されている。

自然界との調和を図るために方法としては、開発する場所と保全する場所との明確な使い分けや、避難情報等のソフト施策の展開に重点をおくなどの具体的なアイディアが挙げられている。

また、総合的な観点からの川づくりを実践するためには、河川行政のみならず、地域住民のニーズやその他関連する事業・施策等を含めた一連的な検討が必要であるという指摘もある。

(3) 今後の治水対策に対する意見

銀河川流域の保水力の低下による洪水の発生や湿地の乾燥化等が懸念されている。これらの根本的な解決に向けての主な取り組みとしては、上流や支流域における農地開発等のために伐採された森林等の再整備や、直線化された河川のもとの形態への修復等が具体的に挙げられている。

また、これらの実現のためには、市町村、北海道、国そして地域が一体となった治水対策への取り組みの必要性が指摘されている。

(4) 河川環境の整備・保全に対する意見

地球環境的な視点から現存する自然環境を保存してゆくことが指向される一方、大河川であるがゆえに子供から高齢者までが水辺に親しめるような河川環境整備への期待は大きく、特に次代を担う子供たちの自然観察等を通じた環境教育の場として注目されている。

また、市街地部におけるコンクリート護岸の緑豊かな多自然型護岸への再整備や、糞尿処理の規制やゴミや空き缶などの投げ捨ての防止、ヘドロの回収等による水質の向上、RV車、カヌー等の乗り入れ規制等による生態系の保全、その他桜並木の植樹等による河川景観の向上、魚道の確保等、多方面につたる意見・提案等が出されており、流域住民にとっての関心の高さが伺える。

流域住民の自然環境に対するモラルを向上させるようなPR活動の必要性も挙げられている。

(5) その他

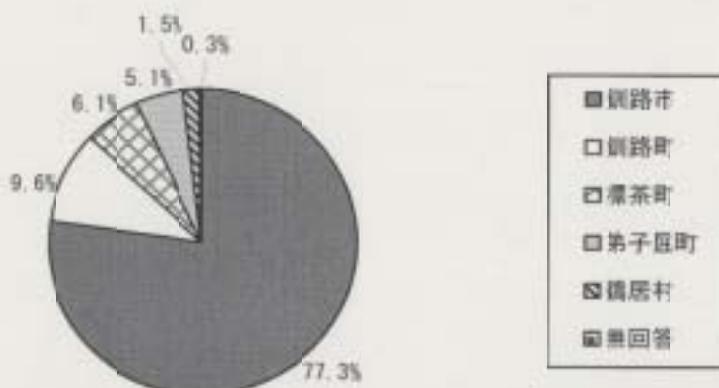
このようなアンケートの主旨を従来の河川行政からの転換と評価する意見がある一方、流域住民の意向が反映されなかった従来の河川整備プロセスへの不満や、権割り行政の限界、統計的処理への不安、現場主義のすすめなど、河川行政全般への不信感も伺われる。

これらの意見は、総じて釧路川という地域の財産や生活と密着した自然への愛着が背景にあり、地域性に即した河川整備の実現への強い想いの現れであると考えられる。

1. お答えされる方についておたずねします。

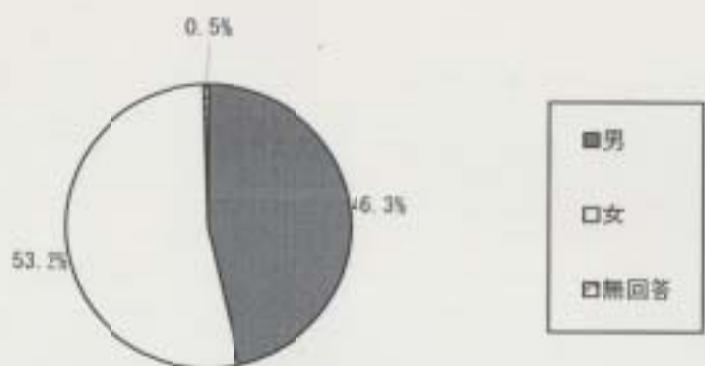
(1) あなたのお住まいはどちらですか。以下の中から選んでください。

	配布数(構成比)	回収数(構成比)	単域別回収率
釧路市	1640 (82.0 %)	466 (77.3 %)	28.4 %
釧路町	180 (9.0 %)	58 (9.6 %)	32.2 %
標茶町	80 (4.0 %)	37 (6.1 %)	46.3 %
弟子屈町	80 (4.0 %)	31 (5.1 %)	38.8 %
鶴居村	20 (1.0 %)	9 (1.5 %)	45.0 %
その他	- (-)	2 (0.3 %)	-
合計	2000 (100.0 %)	603 (100.0 %)	30.2 %



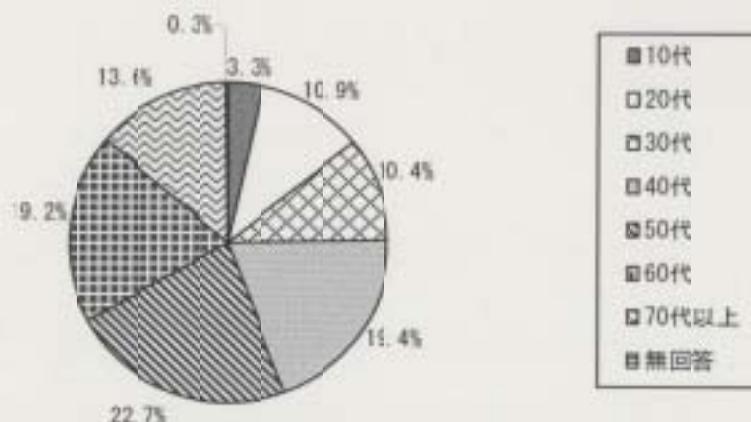
(2) 性別をおたずねします。以下の中から選んでください。

男性、女性がほぼ半数づつから回答をえている



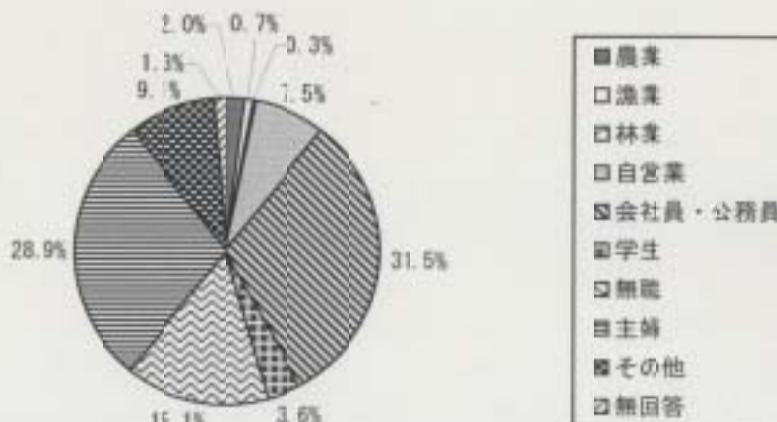
(3) 年齢をおたずねします。以下のなかから選んでください。

回答者の年齢構成は、特定の世代に偏ることなく、あらゆる世代がほぼ均等に散らばっている。



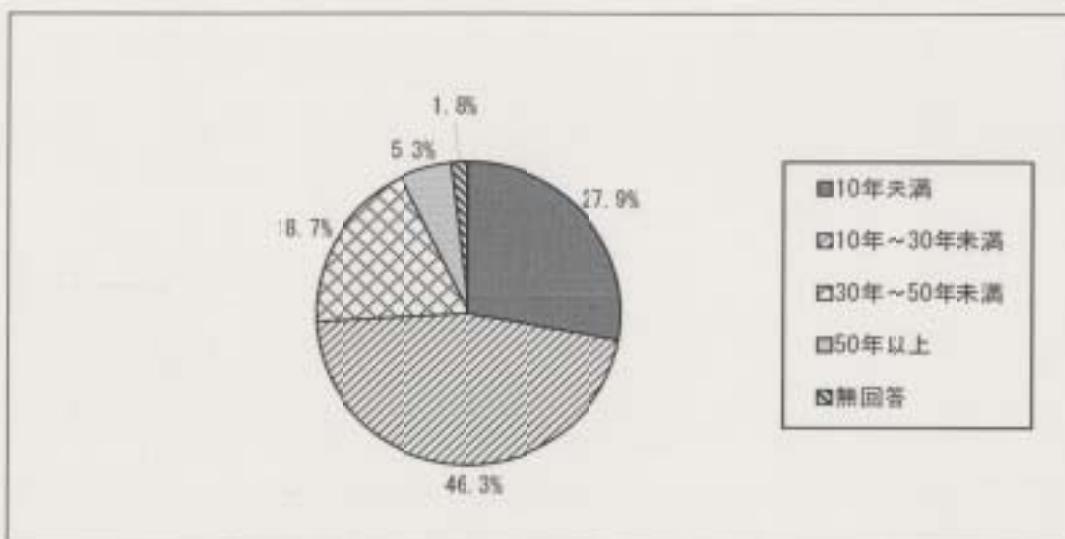
(4) あなたの職業をおたずねします。以下のなかから選んでください。

会社員・公務員および主婦が約30%、続いて無職が15.1%となっている。



(5) あなたは今お住まいの場所に何年居住していますか。以下のの中から選んでください。

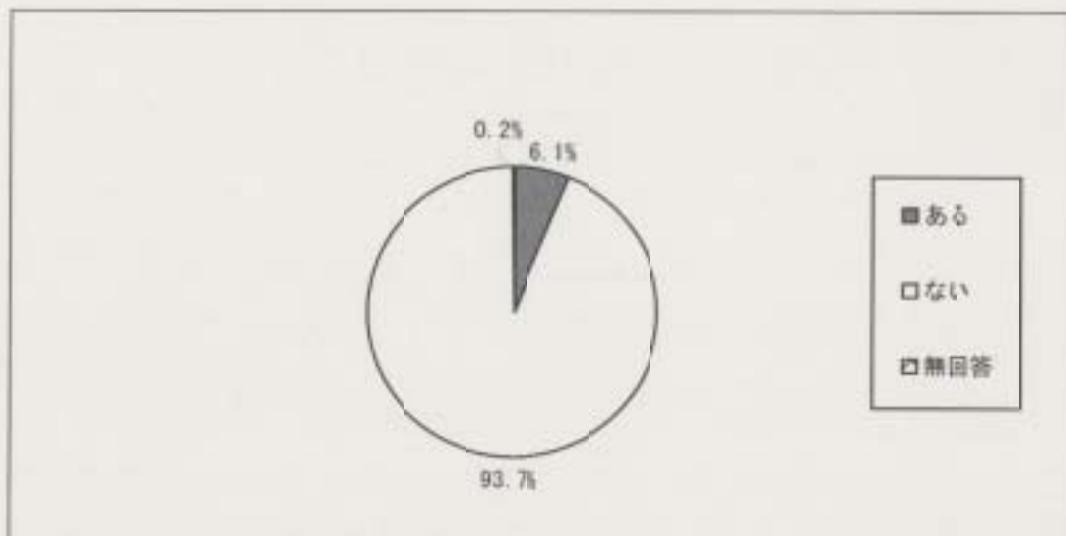
居住年数が比較的長い回答者が多く、居住年数が10年以上の世帯が全体（N=603）の65%（392/603）を占める。



2. 鉄路川の治水についておたずねします。

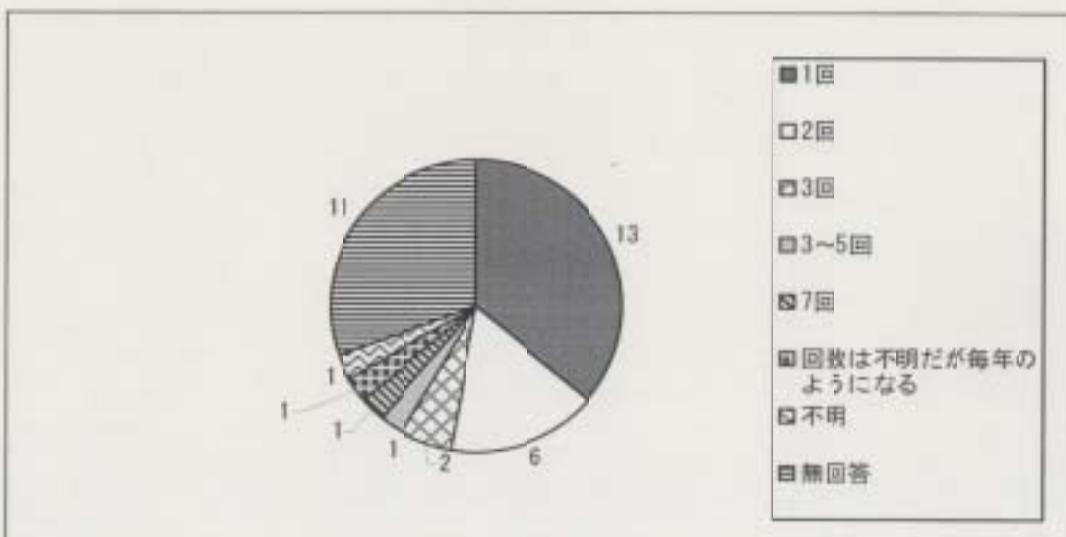
(1) あなたが今お住まいの場所で、今までに洪水の被害を受けたことがありますか。以下のの中から1つ選んでください。

洪水被害を経験したことのある回答者は、全体の6.1%、36人にとどまる。



■被害を受けた回数

被害を受けた回数は、被害を受けた経験のある36人中13人が1回、6人が2回であるが、中には毎年のように被害を受けている回答者もいる。



■被害を受けた場所

過去に被害を受けたことのある場所は、釧路市では、現在、土地区画整理事業が進められており、排水施設整備等が不十分な昭和地区が主である。

また、釧路町では、オビラシケ川や遠矢・別保の市街地などが、標茶町、弟子屈町では、釧路川のほか、支流域の牧草地等での冠水が挙げられている。

鶴居村においても、幌呂川や茂雪裡川等の周辺の冠水が挙げられている。

市町村	具体的な場所	被害回数
釧路市	釧路市昭和 昭和北 昭和田地 昭和地区 城山十字街（昭和35年に洪水） 大楽毛王子製紙川 我が家ではないが、同じ区画内の家が床下に水が入ったと去年聞いた（昭和中央地区） 釧路市昭和北2丁目 昭和北2・3丁目（排水路の洪水） 数年前、大雨が降った日星校の坂の下が水でいっぱい車が走れなかった。	1 1 3 1 1 3~5 1 1 1 1 1 1
釧路町	オビラシケ川流域 釧路川ではありませんが2回ほどありました（オビラシケ川系です） 釧路町遠矢駅前の国道上 釧路町別保 釧路町別保東2-26-	2 2 2 2
標茶町	オソ別川 今は改良されて被害ない シュンケツブシウナイ川 小川 釧路川 釧路川 久著呂市街 私道、牛舎 標茶消防署の辺 畑 釧路川支流、多知川の上流、牧草地かん水	3 1 2 7 1 2
弟子屈町	弟子屈町、朝日、湯の島	1
鶴居村	鶴居寸中幌呂下地区・下幌呂地区 茂雪裡橋 鶴居寸中幌呂 畠が水浸し 平成10年の仁々志川の洪水により北斗橋不通に 雪裡川水系ポン芦別河畔下雪裡地区	回数は不明 だが毎年のようになる 2 1 2 1 4

(2) あなたが現在住んでいる場所は洪水に対し、安全だと思いますか。以下の中から1つ選んでください。また、その理由についてもお答えください。

全体の85.2%が現在の居住地の安全性が高いと考えているが、反面、全体の約1割の回答者が危険性を感じている。



■居住地の安全性についての判断理由

現在住んでいる場所の安全性についての判断規準は、大きく分けて5つ挙げられている。地域別には、鈴鹿市で建物の居住階・構造と過去の経験が一つの標準基準になっているほかは、ほぼ共通している。

・居住地の高さ

海に川岸の水面に対して住んでいる場所が、高いところにあるか低いところにあるかで安全性の評価が2分される。

・建物内の居住階・構造

主に鈴鹿市の中・高層住宅居住者は、RC造かつ中・高層階に居住している場合、安全性が高いと考えている。

・海・河川等からの距離

海・河川等の水面から遠い場合、安全性が高いと評価するが、逆に近い場合は少なからず不安を感じている。

・治水施設等の整備状況

築堤や護岸、水門等の整備のほか、下水道整備の状況等が評価基準の一つになってしまっており、それらに対する信頼度によって、安全性への評価が決まっている。

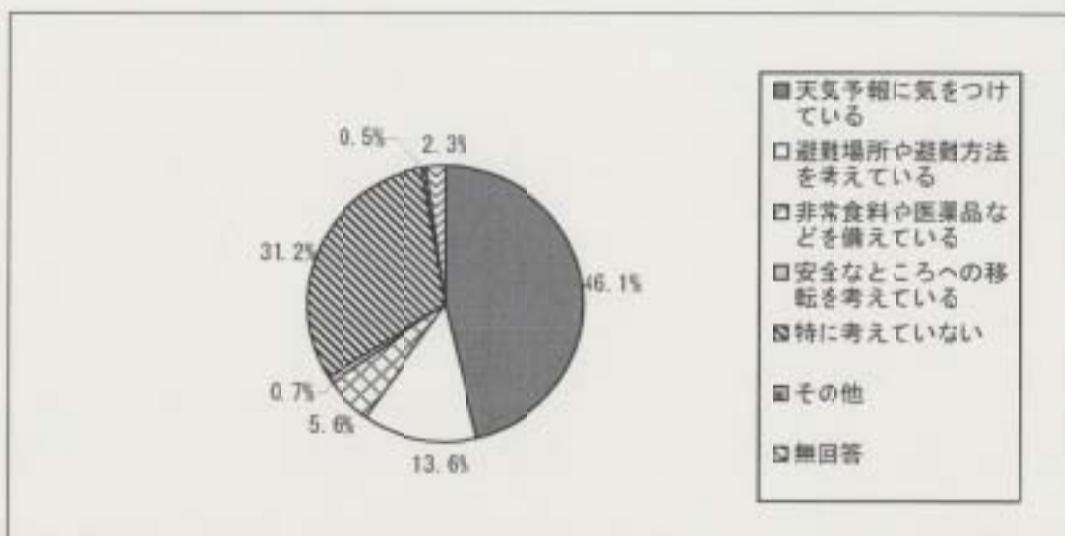
また、遊水地事業等により、自然の保水力が高く維持されていることも安全性が評価される大きな要素となっている。

・過去の経験

過去に大きな水害にあっていないことが、安全性への評価を向上させている。しかし、旧鈴鹿川においては、地震による津波への不安も伺われる。

(3) 洪水などの災害に備えて日頃心がけていることはありますか。以下のなかから1つ選んでください。

天気予報や避難場所など身近な部分への心がけが主体となっており、特に考えていない回答者も全体の約3割にのぼる。



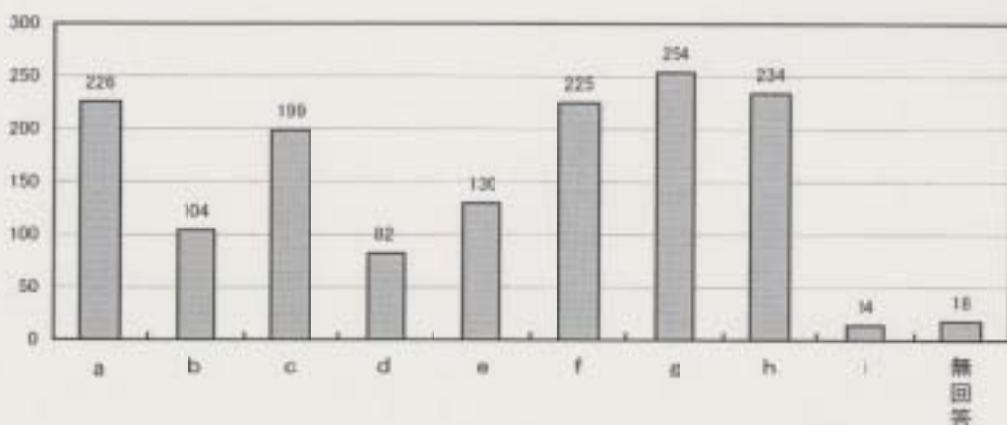
■『その他』の内容

- ・住所が高台のため特に考えていない。
- ・北斗地区で増水となり、鶴居村が孤立する。
- ・牧草の収穫上当然気を付けてる。
- ・現実感がない。
- ・避難袋用意（水、食、衣、電池、重要品）しています。
- ・避難場所など等考えている。
- ・事業施設（サケ、マスのふ化施設）に苦がない様に工夫している。
- ・（2）のため、天気予報に気を使う。
- ・洪水にはならないと思っている。
- ・予知として大切。
- ・大雨が降ると心配で、何度も水の通りを良くするのに起きる。
- ・1つの選択では、足りないと思います。心掛けてることは色々あると思います。
- ・洪水は心配していないが、天気予報には注意をしている。
- ・的確な情報が全ての人に対して行きわざることを希望します。
- ・防災グッズを備えているが完璧ではない。
- ・洪水の被害に一度とないはず。

(4) 洪水対策として具体的に進めてほしいことがありますか。以下のなかから主なもの3つを選んでください。

- | | |
|----------|--------------------------------|
| a 堤防の整備 | f 避難場所、避難ルートの確保と
防災情報地図等の作成 |
| b 河道の掘削 | g 洪水情報の的確な提供 |
| c 河岸保護工 | h 地震対策 |
| d 内水対策 | i その他 |
| e 遊水地の整備 | |

堤防の整備や河岸保護工などハード整備への期待はさることながら、避難場所や避難ルート、防災情報地図、洪水情報などのソフト施策への期待が大きい。

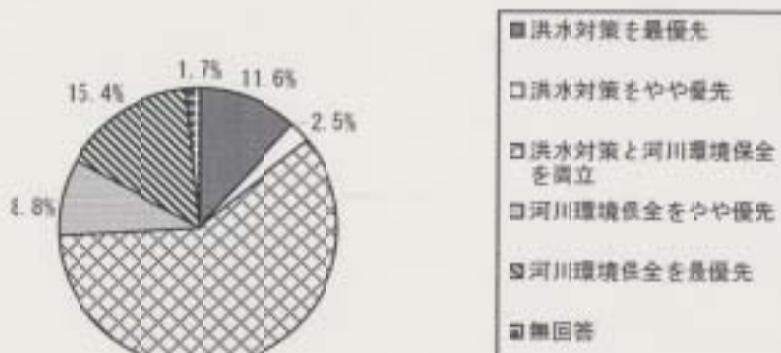


■『その他』の内容

- ・工事は必要最小限にとどめるべき。
- ・魚の道、魚道は改良と未改良の境に必ず付ける事。
- ・湿原の保存。
- ・土盛りの堤防では無理。
- ・洪水情報の的確な提供。
- ・情報の提供に支援活動に努めたい。
- ・護岸工事のコンクリート一辺倒はやめてほしい。
- ・ハゲ山や遊休地に沢山植林をして長期展望に立った対策をして欲しい。
- ・他の河川は別として、釧路川のこれ以上の自然破壊は不必要。
- ・対策項目に植林がないのは残念。認識不足か? 視野を広く見るべき。
- ・洪水の心配ありませんので。
- ・河川改修はただ川を直線に護岸のコンクリート化は不賛成。自然を残すこと。
- ・保水力のある植樹を多くするなど自然の力を大きくした対策を。
- ・洪水時の移動手段の確保。
- ・あまり整備などに力を入れすぎて自然を破壊するのは、やめてほしいと思う。
- ・洪水の被害ないから無駄にお金を使わないで。
- ・現在落差工決壊。昨年秋の大雨で。
- ・これ以上、河川に手をかける必要があるのでしょうか。
- ・自然を守りながら進めてほしい。
- ・釧路川にこれ以上、人間の手を加えない。

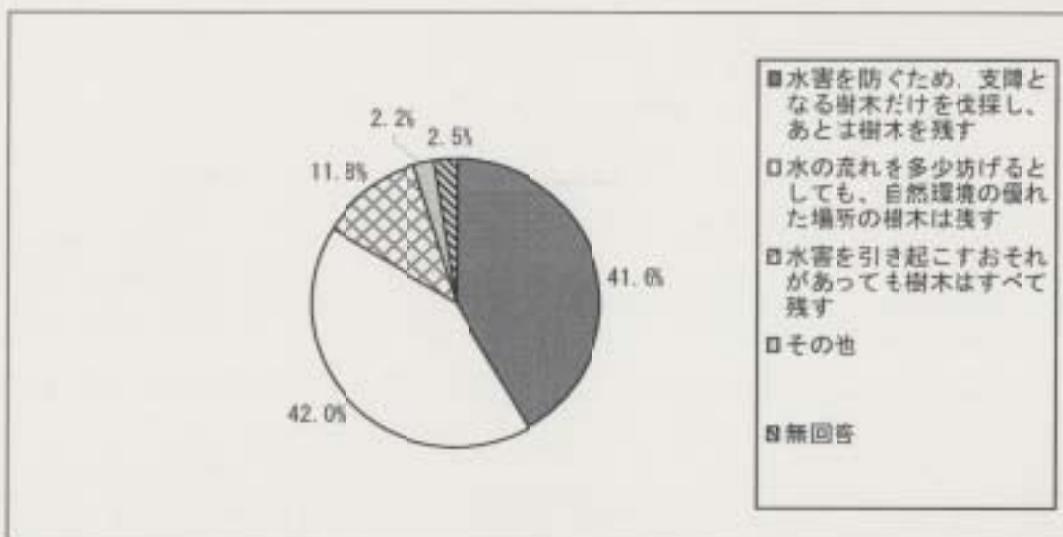
(5) 洪水対策と河川環境保全についてお聞きします。以下のなかから1つ選んでください。

洪水対策と河川環境の保全を両立することが望ましいと考える回答者が全体の60%と圧倒的であるが、河川環境の保全を志向する回答者の割合（24.2%）が洪水対策を優先すべきとする回答者（14.1%）を上回っており、河川環境に対する意識の高



(6) 平常時の川岸の樹木は良好な河川環境を形成する上で重要な役割を果たしています。一方で、洪水時には水の流れを妨げ水害を引き起こす原因となることがあります。そこで樹木の残し方についてあなたの考えを以下の中から1つ選んでください。

水の流れの多少の妨害や水害の危険性があっても、自然環境の優れた場所の樹木を残すべきであるという意見が半数を越えており、樹木に代表される自然環境への保全の意識の高さが現れている。



■『その他』の内容

- ・なるべく自然の樹木や鳥は大切にしてもらいたい。
- ・大洪水を未経験なのでピンときません。
- ・樹木は堤防の外側に設置すべきです。（本州の水害を現認してるので）
- ・自然のままに臨機応変。
- ・伐採せずに水の流れのさまたげにならない所へ植えかえて緑を残す。
- ・樹木はすべて残すその上で水害の来ないよう考える。
- ・洪水の原因が樹木の生育だけとは考えにくく、自然環境に配慮した他の方法でも解決できるものと考えます。
- ・無駄にお金使わないで。
- ・自然是人間が手を加える物ではないと思う。
- ・水を分散させて新しい川や池を作る。すると自然が守られて洪水も起きにくいのではないかと思います。樹木を伐採する事は、自然環境にダメージを与えるけれど、ちょっとならないと思う。けれど自然で樹木が少なくなってる今は、樹木を伐採するのはよくないと思う、難しいですね。
- ・現在は釧路川は一部流域を除き護岸工事が行なわれていますが、とても釧路川とは思えません。
- ・残した上で考えて下さい。

3. 銀路川の自然環境についておたずねします。

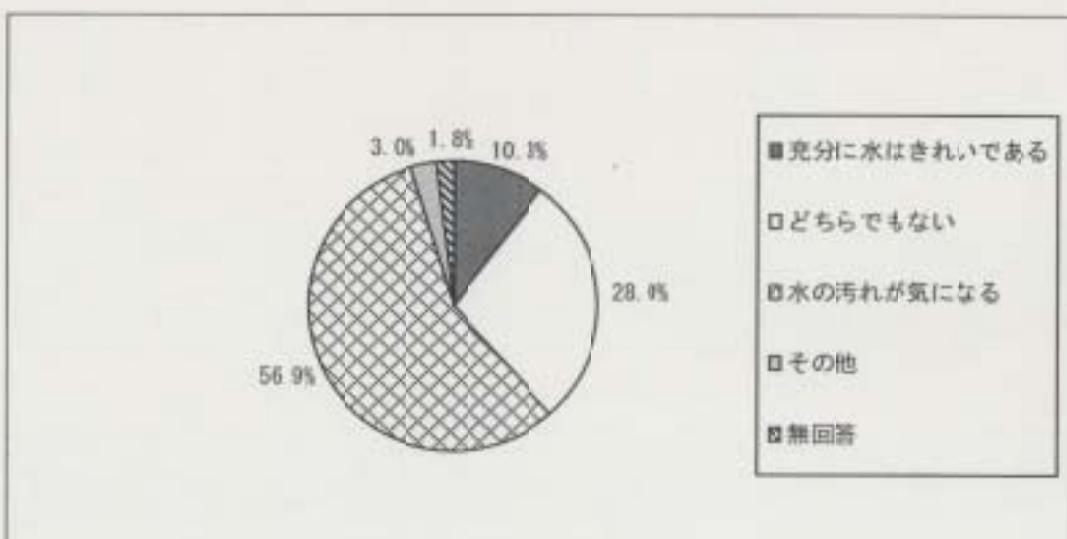
(1) 銀路川流域で大切にしたい動植物は何ですか。主なもの3つを選んでください。

大切にしたい動植物の第一に挙げられているのは国の特別天然記念物タンチョウである。そのほかは、幻の魚イトウ、氷河期時代の生き残りといわれるキタサンショウウオなどが挙げられている。



(2) あなたのお住まいに近い銀路川の水質について感じていることを、以下のなかから1つ選んでください。

水の汚れが特に気にならない回答者は全体の約4割を占めるものの、残りの回答者の大半が水の汚れが気になっており、水質への関心は高いものと考えられる。



■ (1) 『その他』の内容

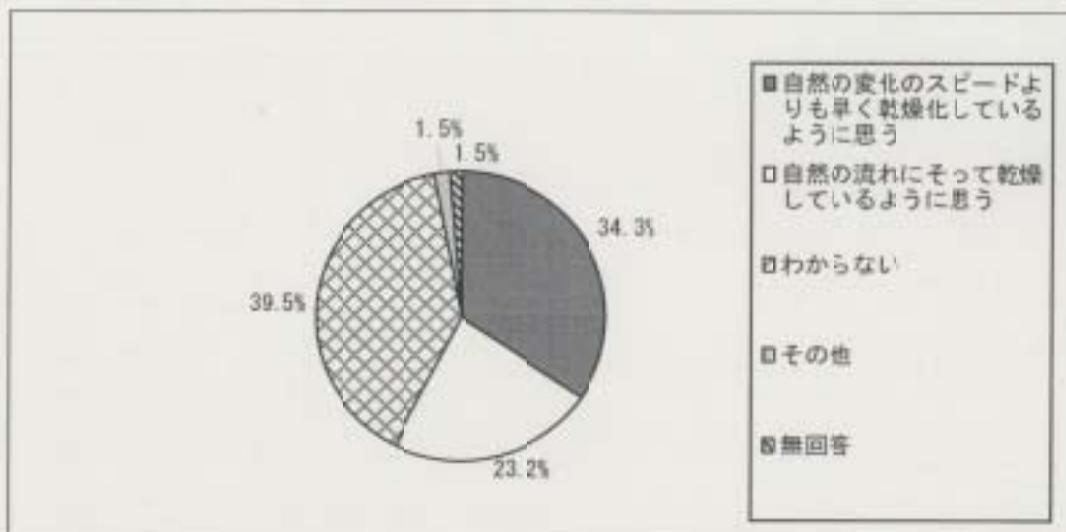
- ・全て大切と思うので解答いたしません。
- ・全部大切なものです。
- ・生物によって区別（差別）することは理解できない。
- ・トンボ。
- ・出来れば全部残るように配慮して欲しいです。
- ・a～i 総て大切にすべき物と思う。
- ・すべて大切です。
- ・上記の動植物は、全てとても大切です。
- ・青サギ。
- ・イトウ、ヤチボウズ、ヨシスゲ。
- ・動植物を選ぶのは、釧路川の自然環境を無視する事。
- ・（シシャモ）、ヨシスゲ。
- ・全て大切な、より認識を深めてもらいたい。
- ・全ての動植物を大切に考えて下さい。
- ・動植物は全て大切にしたいものです。外来種が在来種を駆逐する傾向にあると言わせてますので、その辺の対策が必要でしょう。
- ・釧路湿原で最も重要な種はエゾカオジロ・ンボ。この種は世界では釧路地方と十勝の一部。他の動物では例が無い。この認識がないのは極めて残念！この項、答える気が失せた。
- ・全部。
- ・高層湿原の植物群落は永久に残してほしい。
- ・3つだけとは選べない。すべて守るべきだと思う。
- ・主なものというより、すべて大切に保護すべきである。
- ・記入されてる物すべてです。選定出来ません。
- ・すべて大切で3つに限定できない。
- ・全部。
- ・全部。
- ・2～3の物を限定するのはどうか。それぞれに生態を持っているので。
- ・選べるものではありません。人もいれて全てです。
- ・全部です。
- ・全部大切。
- ・生物はすべて大切です。
- ・全てが対象と思うが、釧路川流域でしか生育できないものを優先する。
- ・ワカサギ、チカ。
- ・自然環境を大切にすることで、全ての動植物も大切にできると思います。
- ・全部。
- ・何れも自然環境に大切、不可欠。
- ・全部大切にしたいです。
- ・生息する動植物全てであり、優先順位をつける事柄ではありません。
- ・ヨシ、スケ（タンチョウの子育てに必要です）
- ・生き物は全部大切です。
- ・釧路湿原。
- ・全ての動植物を大切にしたい。
- ・3つ選定選択は難しい。全生物。
- ・すべて大切と思う。

■ (2) 『その他』の内容

- ・充分ではないが、まあまあきれいだと思う。
- ・数年間、川面をよく見たことがないのでわからない。
- ・水循地と牧場が隣接している。
- ・あまり気をつけて川を見た事がない。
- ・ゴミが浮いている。
- ・小さい頃にあんなにきれいで毎日ワクワクしながら川に遊びに行ったのがうそのようです。
- ・近くの春深湖。
- ・気にして見たことない。
- ・水質を気にした事はないが、川の周辺が汚れている。
- ・水の流れが気になる。
- ・増水時に泡が立ち、酪農家から流れた尿の混入を感じる。
- ・上流地域、特に酪農地帯のふん尿対策。
- ・酪農家から排出される洗剤や糞尿の悪影響は最早どうにもならない所迄きている。
- ・釧路川上流部の酪農家の牛の糞尿の流入、市民の飲料水は安全か?
- ・セツリ橋付近は、自転車、タイヤ等が川中に捨てられている。
- ・ヤマベ釣りで感ずること。農家の汚水、堆積した糞からの汚水の流水。
- ・朝一番で出すと、茶色の水が出る。
- ・川は魚が、又はザリガニがいてきれいだが、時にはゴミが沈んでいるのが目立つ。
- ・充分とはいえないが、きれいだと思う。
- ・水質は良であるが、釣糸の捨てられたものや、ゴミが目立つようになった。
- ・新釧路川中央の水底が浅い。
- ・釧路川に限らず全ての水質について気になります。
- ・旧釧路川の湧水の希望。
- ・水位の低下。
- ・河口付近の汚れが気になる。
- ・上流より水を少なく流してほしい。
- ・牛の糞尿による。
- ・釧路川源流域と河口付近の水質の差は大きいと思います。
- ・幼年時代から比べると、水量が減っている。
- ・川の近くまで行っても、実際に手で触ったりしないのでわからない。
- ・工場などから川に流される水はきれいなのか?
- ・農家等から出る家畜の汚水が川に流れている。
- ・川の周辺地域の保水力がなくなった。
- ・とても汚い。

(3) 鋸路湿原の乾燥化についてどのように感じていますか。以下のなかから1つ選んでください。

自然の変化のスピードよりも早く乾燥化していると感じている回答者は34.3%にのぼり、自然の後退への危機感の高さが伺える。

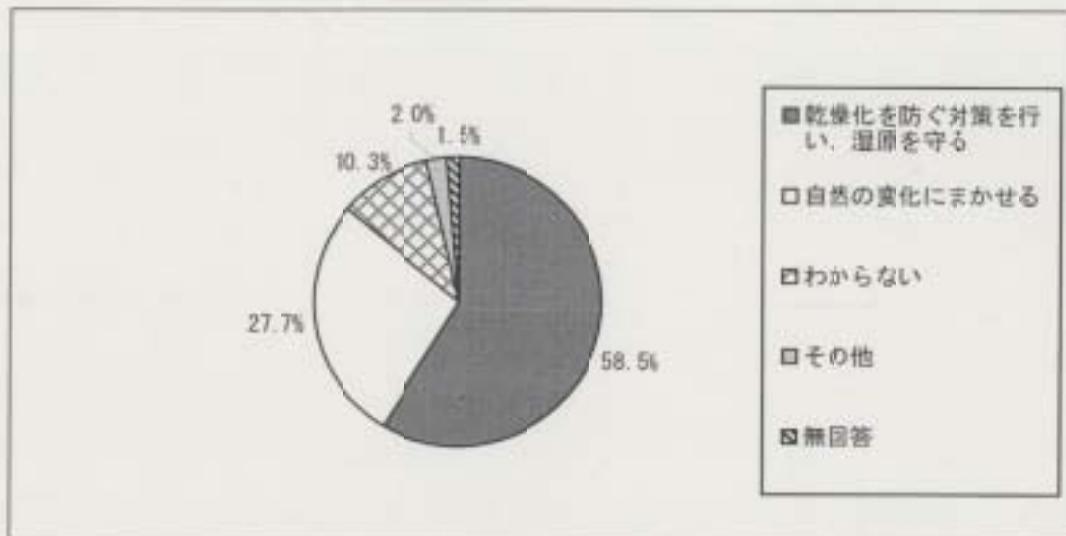


■『その他』の内容

- ・乾燥化している事を知らなかった。昨日の多量の雨で水があふれていると思う。
- ・鋸路湿原には一度車で行き、展望台から見ただけなのでわかりません。今後注意して見守りたい。
- ・鋸路川流域の開発のしすぎ。
- ・下流地域の宅地化。
- ・鋸路川、各支流の川測点の無謀な畠地の開発が主原因。
- ・鋸路川が直線化した数年間は特に感じられた。平成に入ってからは安定した感じ。
- ・鋸路川に生活排水やゴミ、空き缶を投げないでほしい。
- ・そんなの始めて知った。
- ・国営農地開発事業等の名目で乱開発が行なわれ、融雪時又は豪雨により湿原に土砂が堆積している。(乾燥化が一段と進んでいる)
- ・乾燥化が進んでいるとは知らなかった。
- ・さまざまな開発、河川工事が少なくとも影響していると思う。その一つ一つが本当に必要なものだったのか疑問を感じことがあります。
- ・乾燥化ではなく、土砂の堆積だと思います。川の周辺が問題です。
- ・昔はヤチボウズも水分のせいか元気よく感じた。乾燥化してる。
- ・河岸保護工事など人の手が入り自然を壊しすぎるため。
- ・開発で乾燥化している。
- ・周辺の開発によると思う。
- ・水害が発生しないということは、流域への水の供給が断たれています。当然湿原は乾燥しています。
- ・湿原周囲の樹木があまり無い。植木酪農開発。

(4) 鉄路湿原の保全について、あなたのお考えを以下のなかから1つ選んでください。

湿原の保全については、乾燥化を防ぐ何らかの対策を行うべきと考える回答者が全体の約6割を占める。



■『その他』の内容

- ・鉄路湿原に流れる河川の上流地区の森林確保、畑、草地のこれ以上の拡大阻止。
- ・湿原保存のためには観光面の抑制が必要。
- ・河川工事での直線化が全て全て乾燥化に連なっている。AB両方。
- ・これ以上開発しない。
- ・カヌー。
- ・乾燥化が進んでいるのならある程度人二的に守ってもいいのですが、その為に他の動植物への生態系などが心配です。自然の力は偉大です。人間が自然を侵さない限り湿原は自然力で元に戻ると思います。
- ・自然にまかせる方が良いと思うが、しかし、色々な動植物の貴重な場所でもあるので、出来るだけ守って欲しい気もあります。
- ・国が開発局が元に戻す努力をする。
- ・ゴミ、空き缶を捨てないで、その他のマナーを市民は守るべきだ。
- ・動植物優先。
- ・乾燥化が人の手によるものならば対策が必要。
- ・できるだけ自然状態に変化を定期的に観察し、その結果をふまえたうえで対策を考える。
- ・とにかく痛めない事。湿原は万物の命です。
- ・湿原の乾燥化は、自然の摂理からすれば止むを得ないが、周辺の開発によりスピードアップしている。
- ・鉄路湿原とその周辺を開発しないようにすることで、湿原は守れると思う。
- ・命の水、命のそ土。
- ・乾燥化させる様な自然の変化を防ぐ。
- ・乾燥化がしてきてるのであれば、防ぐ対策が必要。急。
- ・工事等で人間が管理するのは、人間の利害に基づくものだけです。

(5) 鉄路川と聞いて何をイメージしますか。簡単にお書きください

釧路川のイメージとしては、タンチョウやイトウなどの貴重な動植物のほか、露や夕日などを含め、川や湿原が醸し出す雄大なイメージを挙げる場合が多いが、鉄路川や釧路湿原そのものの存在意義を挙げる回答者も多く、それらが鉄路流域居住者の精神や生活等と密接に関わっている様子が伺われる。

・動植物など

タンチョウ
イトウ
キタサンショウウオ
サケ・マス・シシャモ

・川・湿原のイメージ

大河のイメージ
蛇行河川
自然河川
雄大な川
きれいな水、清流
流れない川
日本一の大湿原
原始の姿をとどめる川
泥炭地
茶色の水
悠々と流れる
水量の多い川
とろみ、よどみ
神秘の川
川幅が広い川
ダムのない川
空き缶が浮く汚い川
臭う
枯渇
洪水のために掘られた人工川
ラムサール条約登録湿地
近づきがたい川

・自然

釧路湿原
はすのは水
湿原に沈む夕日
露
緑
屈斜路湖
津波
雨上がり、雪解けの水の輝き

・遊び、イベント

花火大会
川のアートコンテスト
カヌーの聖地
水あそび、釣り
人工物
幣舞橋
岩保木水門
河口の廃線
船夜景

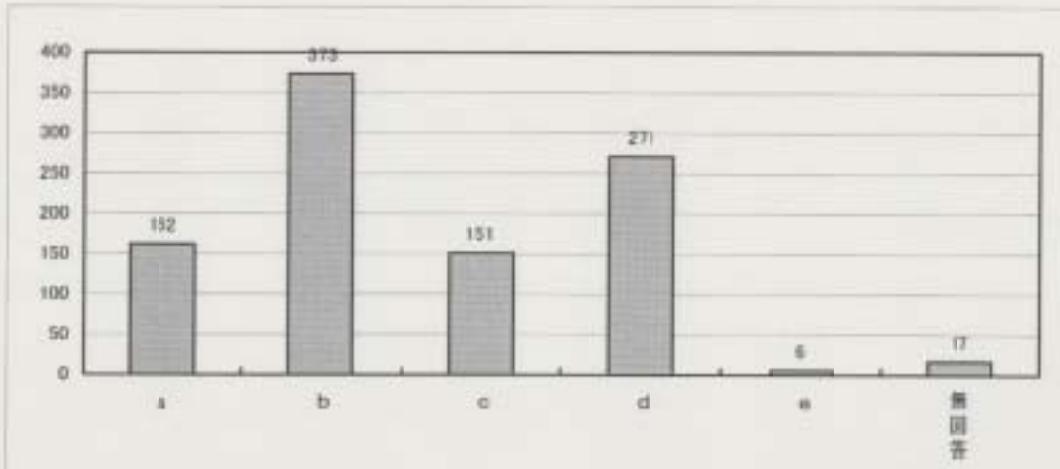
・川の存在意義

動植物の最後の楽園
釧路そのもの
釧路の歴史の象徴
ふるさと
命の水、命の源
大池の恵み
釧路の宝
釧路漁業の源
永久・悠久
時の流れ
生活に欠かせない川
地域のシンボル
母なる川

(6) すでに河川の改良が行われた場所などでの水辺の復元について、望ましいと考えられることを以下のなかから2つ選んでください。

- a 市街地のコンクリート護岸などを、水辺とふれあえるようにする
- b 市街地のコンクリート護岸などを、自然環境、景観に配慮したものにする
- c 直線化された河道を、もとの蛇行河川に近づける
- d 旧釧路川へ通水し、河川環境の改善をはかる
- e その他

自然環境や景観に配慮した護岸形態への復元が最も期待されているほか、旧釧路川への通水に対しても、水質環境の改善を図るべきと考えている回答者は多い。



■『その他』の内容

- ・これ以上、さわらないでほしい。
- ・護岸工事により、青い釧路川がなくなり悲しい。
- ・自然団体、環境団体の一方的な考えは許さない。
- ・釧路川の場合、もうこれ以上ハジッてほしくない。
- ・河川敷の有効活用。
- ・3つにしたいので。
- ・自然の物だから工事をするな。
- ・旧釧路川と呼ばれるの嫌なので。
- ・旧釧路川の市街地コンクリート護岸を洪水に強い状態に近づける。

(7) 自然環境や川の景観について、今よりもっと良くしたい場所がありますか。
どこで何を良くしたいかを記入してください。

希望する改善点は、下の4つに大別される。

・レクリエーション空間の創出

広い河川敷を有する釧路川下流付近等を中心に、子供等も安心して遊べるようなふれあい空間の整備のほか、桜並木など緑化、散策路・公園等の整備、遊園地の整備など、自然豊かな環境と積極的な活用とを調和させるような整備が期待されている。

・市街地景観の改善

旧釧路川の市街地部においては、主に廃船や倉庫群等の問題が指摘されており、それらの整理はさることながら、護岸の改修や並木道、芝生等の整備による釧路地域の顔としての質の高い市街地景観の創出が求められている。

・水質環境の改善

旧釧路川や日雪沢川、星ヶ浦川、春採湖等における水質の悪化が懸念されており、通水等によるヘドロ取りや臭いの解消が期待されている。

・多自然型工法による河川環境の改善

特に、標茶町、弟子屈町、鶴居村の市街地内における護岸形態への不満が大きく、護岸の多自然化のほか、魚道の整備など、できるだけ自然に近い形への河川改修が期待されている。また、同時に、貴重なふれあい空間となっている河川敷のさらなる質の向上に向けて、植樹や親しみやすい水辺の整備、散策路の整備などが挙げられている。

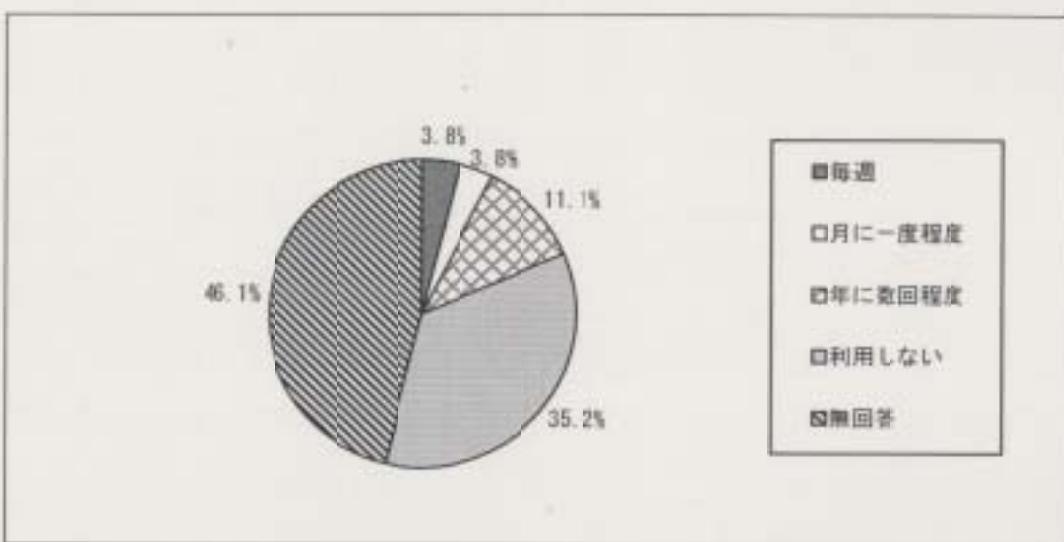
指摘があった主な場所を次頁図に示す。

4. 銀河川の利用についておたずねします。

(1) あなたは、最近1年間に銀河川に行きましたか。目的、回数、主な利用場所を教えてください。

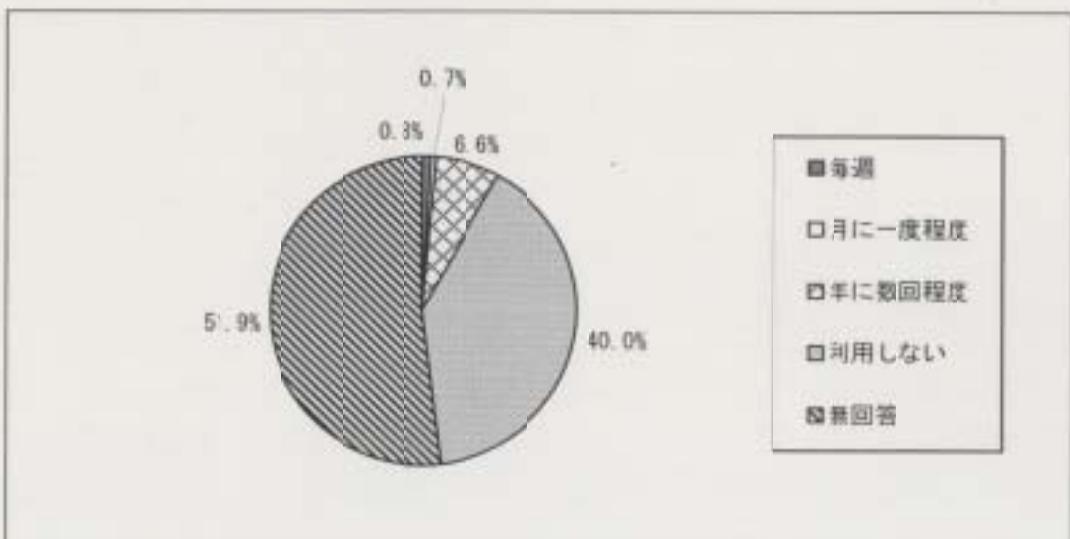
■日常的な散歩や休息

無回答を含め、利用しない回答者が全体の約8割を占める。散歩や休息で銀河川を利用する人でも年に数回程度というのが多い。



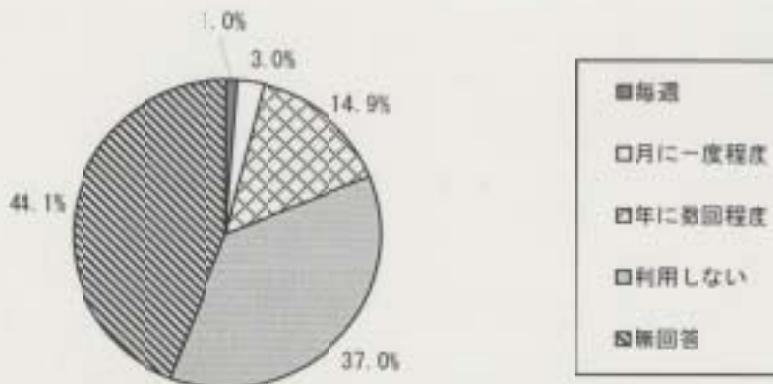
■サイクリングやランニングなど川沿いのコースを利用したスポーツ

無回答を含め、サイクリングやランニングにはほとんど活用されていないようである。



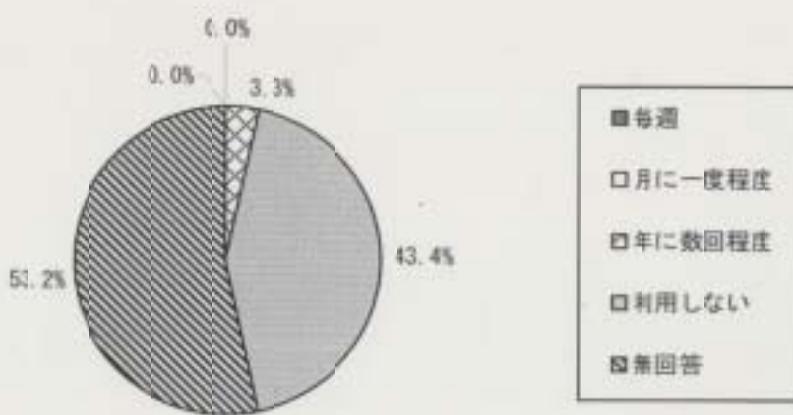
■釣りや魚とり、水遊びなど水を利用したレクリエーション

年に数回程度活用する回答者が14.9%おり、比較的活用されている。



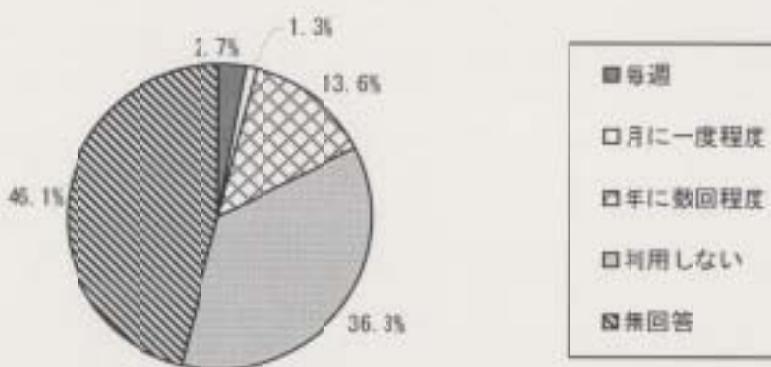
■カヌー、ボートなど水面を利用したレクリエーション

本調査の回答者においては、カヌーやボートの利用はほとんどない。



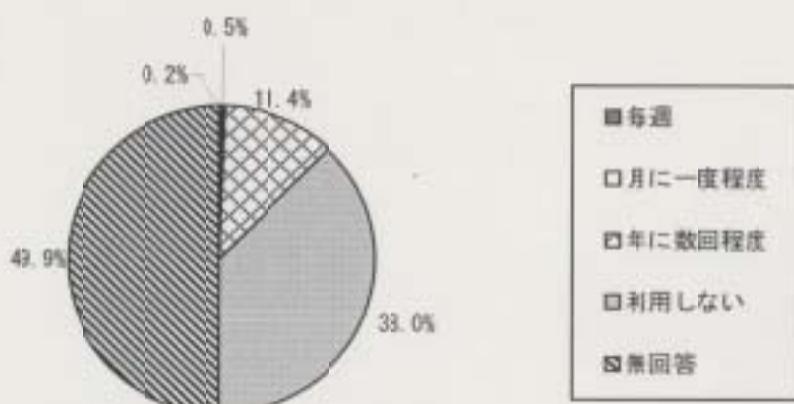
■野球やサッカー、パークゴルフなど広い河川敷を利用したスポーツ

年に数回程度利用する人が13.6%いる。



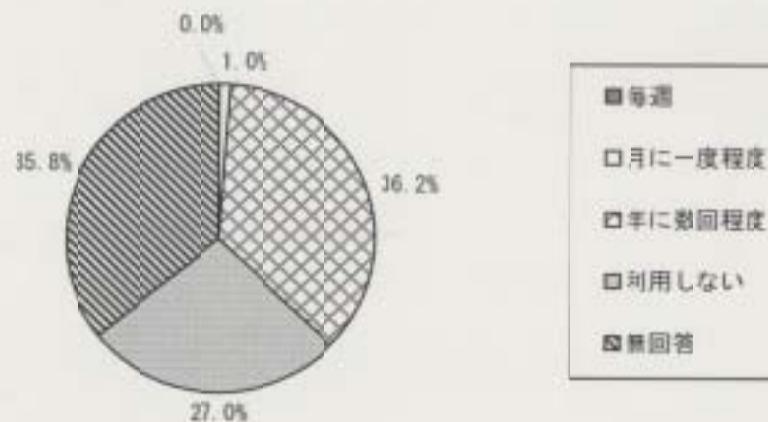
■水辺を利用したピクニックやキャンプなどのレクリエーション

年に数回程度利用する人が11.4%いる。



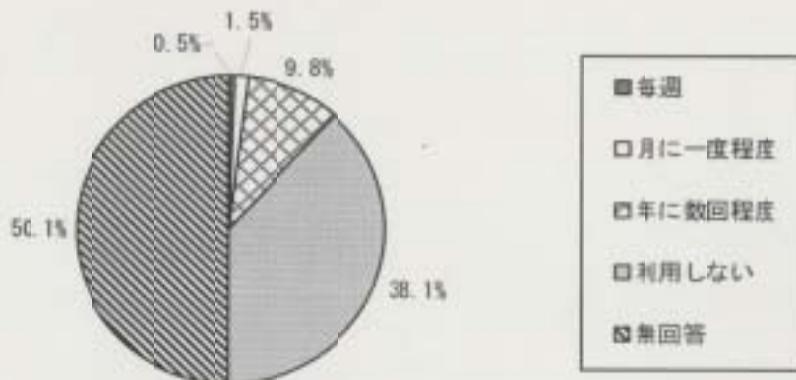
■お祭りや花火大会などのイベント

花火大会などの規模の多きなイベントが行われるため、利用する回答者が多く、全体の36.2%を占める。



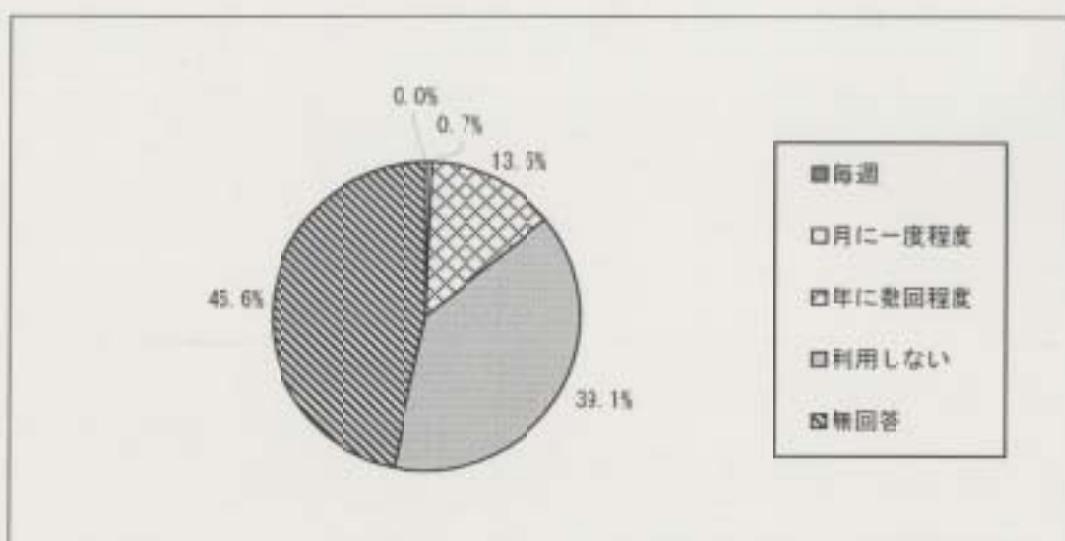
■バードウォッチング、植物観賞などの自然観察

利用する回答者は、年に数回というのが1割程度いるにとどまり、一般的に利用されるわけではない。



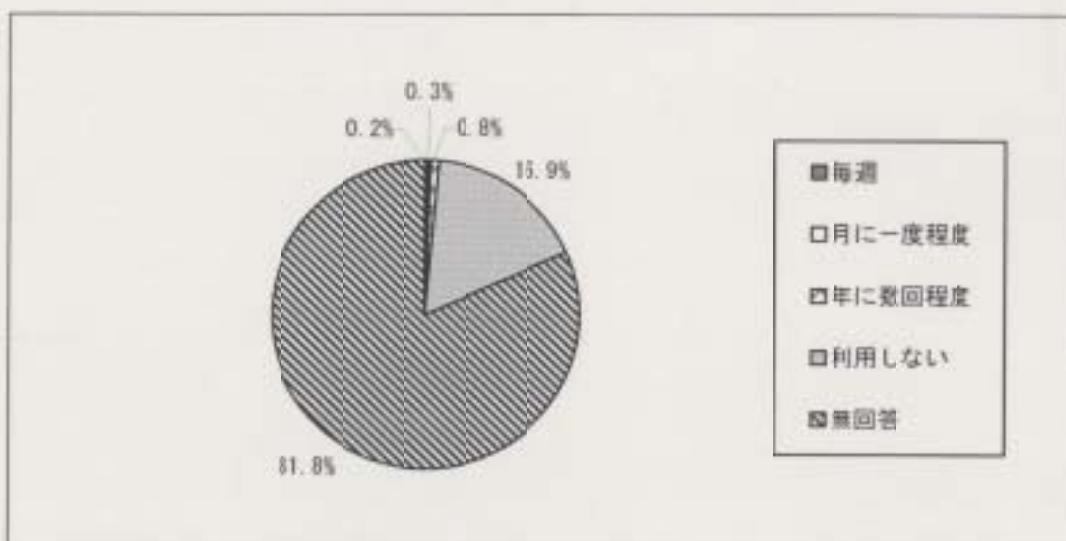
■山菜とりなどのレクリエーション

年に数回利用する回答者が13.6%いる。



■その他

設問項目以外、取り立てて特徴のある利用はない。



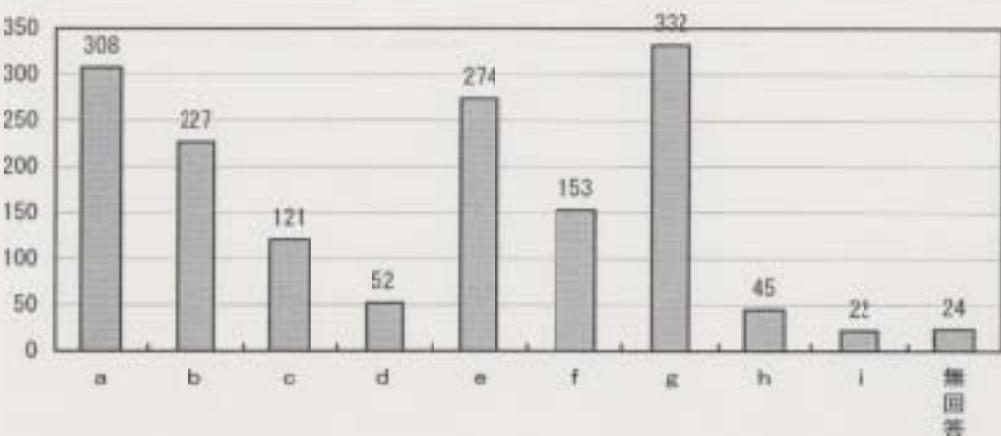
■『その他』の内容

- ・写生。
- ・写真撮影、数年に1度くらい。
- ・春夏秋冬、写真写しに行きます。
- ・利用したくとも遠いので、そういう人もいる事忘れないで下さい。
- ・毎日朝晩散歩している右岸。
- ・ホタル観賞。塘路二本松橋～コッタロ川河口間。
- ・標茶町河川敷の小さい川のある公園。
- ・螢鑑賞。福原散策。
- ・川沿い堤防のドライブ。
- ・何も出来ません。
- ・場所が立入禁止になっていたりするので、遊べない。
- ・犬の散歩。
- ・別保公園。
- ・細岡展望台。
- ・昨年3月まで転勤で地方にいましたので、1回も利用していません。
- ・春採湖の散歩。毎日。

(2) 鉄路川や河川敷を利用する際に、今後充実してほしいものは何ですか。以下のなかから主なものの3つを選んでください。

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| a 散策を楽しめる遊歩道やサイクリングロード | e 水遊びや様々なイベントが楽しめる公園 |
| b 安全に水辺に近づけるスロープや護岸 | f 釣りが楽しめる場所 |
| c パークゴルフや野球・サッカーなどが楽しめる広場 | g 駐車場やトイレなど簡単な施設 |
| d カヌーが乗り降りできるカヌーポート | h 何もないらしい |
| | i その他 |

駐車場やトイレの設置への期待が最も大きく、続いて散策やサイクリングを楽しめる環境、水あそびやイベント、スロープなど、水辺に近づきやすい環境の整備が期待されている。



■『その他』の内容

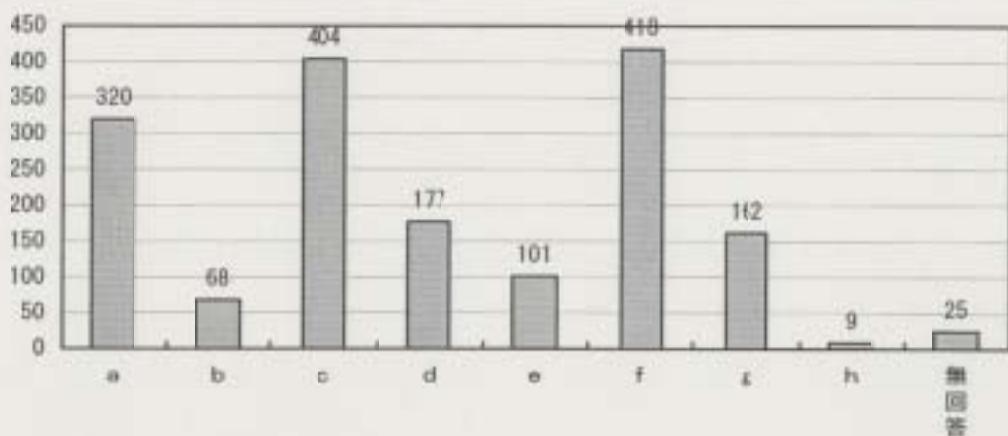
- ・施設充実と言っても、それは市街地のみで、それ以外はあまり手を掛けない事。
- ・川に限ったことではないですが、ゴミ捨て場所の複数設置と風で飛ばされないようにする工夫等など。
- ・堤防を道路にも利用すると、鶴居と鉄路が近くてよいのでは。
- ・人工的でない木辺に近づけるスロープ（人1人通れる位の幅で十分）。
- ・トイレがある所もあるが、汚いから利用したくない。
- ・もっと桜の木等を植えられないかと思います。
- ・夜でも安心して歩けるような照明設備。
- ・車輛の乗り入れは禁止して欲しい。
- ・整備すると利用者がふえ、環境が悪くなる事もある。
- ・立ち入り制限（特に車）。
- ・鉄路川、河川敷など市民に楽しめる様にすると（東京の荒川・江戸川などでもそうでしたが）見た目はキレイでよいのです。色々な人がいます。ゴミを捨てたり、タバコを捨てたり、犬の糞がそのままだったりと結局川が汚れてしまいます。
- ・80才です。自分のためには何も希望しません。
- ・積極的に施設を造らないこと。
- ・自然という事。
- ・この項目は、「今後充実してほしくないものは」としてほしい感じ。
- ・どこにどんな利用出来る場所があるかがわかる地図。
- ・大きい子供でなく、まだ小さい子供の遊び場。
- ・公園遊具を増やしてほしい。

- ・すべて市街地近郊に限り、湿原部分は手をつけない。
- ・川の水を水道水として飲んでいる自分に気がつくことです。おいしく、美しい水を飲むと、美しい自分になります。（心がですか）
- ・散歩等の際に休憩場所への樹林帯を作る。
- ・花たくさんの公園。
- ・トイレ位は良いと思いますが、あまり施設は作らないでほしい。
- ・自由に家庭菜園ができるように開放する。
- ・自然と壊してまでつくるものは、一切いらない。
- ・市街地周辺での広場、公園はよいと思うが、他の場所の開発はあまりしてほしくない。
- ・堤防を整備し、道路として供用してもらいたい。
- ・魚の住みやすい川。
- ・何もする必要は無いでしょう。
- ・家族で食事のできるところ（焼肉とか）。
- ・鈴路川（特に源流部付近）は今のままで充分世界に誇れる場所です。
- ・分別の大好きなゴミ箱をたくさん。

(3) 濡原を含む河川利用と保全のための対策として何が必要だと思いますか。
以下のなかから主なもの3つを選んでください。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| a 人が立ち入ることによるタンチョウの営巣への影響の軽減（立ち入り制限） | d 釣りマナーの向上とルール化 |
| b カヌー乗降場所の限定 | e 監視・見回りの徹底 |
| c 4WD車等の濡原周辺への乗り入れ規制（踏み荒しの防止） | f ゴミ捨て等に対する罰則の強化 |
| | g 川・濡原等の保全に関するPRの充実 |
| | h その他 |

ゴミ捨て等に対する罰則の強化、4WD車の乗り入れ規制など、タンチョウの営巣への立ち入り制限などへの反応が強く、貴重な自然に大きな被害をもたらしうる行動への危機意識が非常に強く、カヌーの乗降場所や釣りマナーなどの個人ベースの趣味的な部分に対して問題の意識は比較的低い。



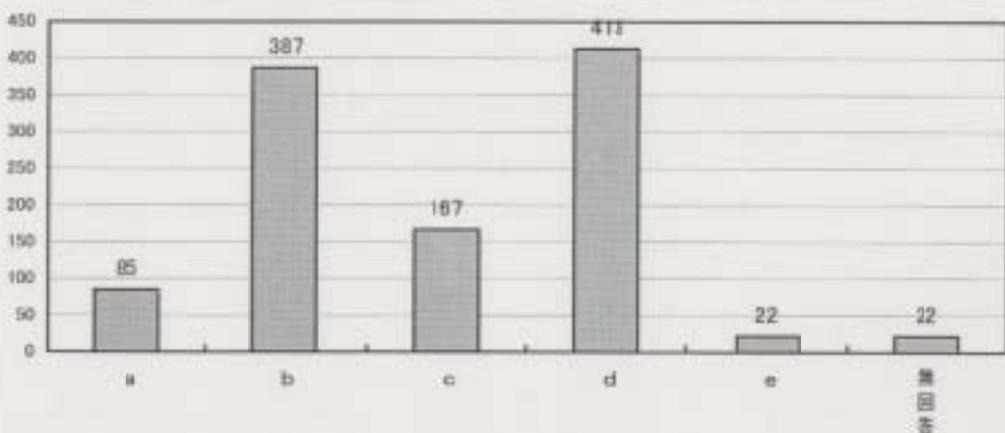
■『その他』の内容

- ・釧路川で釣りをしている人などがゴミをポンポンおいていくと増水時にそのゴミが川に流されて川の汚染となるので一人一人に呼びかける。
- ・自然には一切、手をつけない様にして欲しい。
- ・3つを選んだが、他の項目も含めて絶て必要。
- ・人間中心の考えを止めること。おいしい水を飲むのにはどうしたらいいか。この一点しかありません。
- ・この欄も全部必要と思います。
- ・タンチョウ鶴が心配なら、業者、私有のカヌーは入れるべきでない。
- ・自然な姿の川。
- ・答えはどうしても4つになってしまう。
- ・市条例などで罰則も必要では?
- ・生態系を考えた河川改修。
- ・モラル。
- ・川を訪れる人のマナーも低下しているかと思いますが、タンチョウに過剰に反応するのはどうでしょうか。

(4) あなたのお住まいに近い釧路川（釧路湿原を含む）のこれから「水辺の活用」について、望ましいと思うものを以下のなかから2つ選んでください。

- a 大規模な施設を中心とした、都会的なにぎわいが感じられる水辺として活用する
- b 河川敷などを、健康づくりや水あそびなどに使える身近な水辺として活用する
- c 湿原を肌で体験することができるようなカヌーやホーストッキング、キャンプなどの拠点として活用する
- d 今の自然をそのままにして、動植物の観察や研究などのフィールドとして活用する
- e その他

湿原や河川環境はそのままに動植物等の観察や研究のフィールドとしての活用と、健康づくりや水あそびに使える身近な水辺としての活用が圧倒的に多く、大規模な開発や湿原をフィールドとするレクリエーション利用はさほど支持されていない



■『その他』の内容

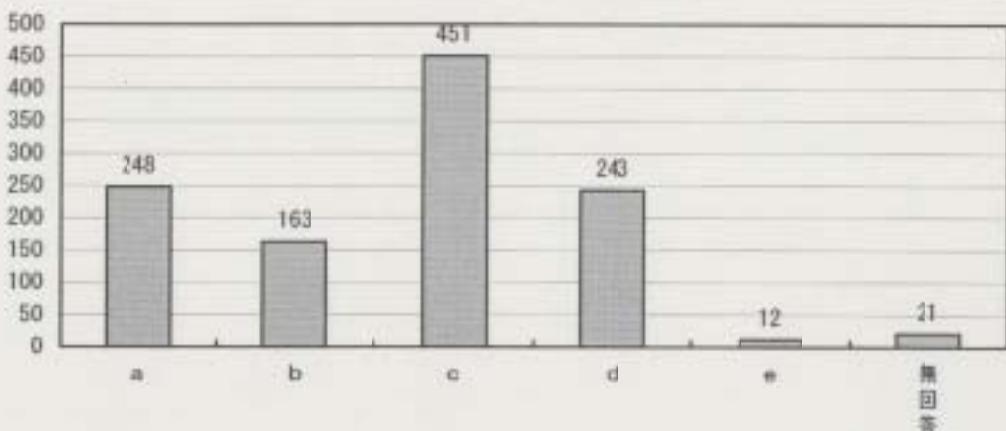
- ・より自然のまま。
- ・過度な開発は望まない。
- ・今の横並びの教育ではなく、子供にいくつかの選択権を与え、その中から好きなものを選ばせて自分自身で学ぶことが大切だと思う。
- ・自然保全のための教育活動。
- ・生態系に配慮した利用。あくまでも自然が先。
- ・曲線の川が望ましい。
- ・上流は自然の姿のままに、海に近い場所は静かな散歩道の様なものを。
- ・川にそよしたサケを密猟されずに自然産卵を皆が観察できる様にする。
- ・不自然な建物や看板を除却して、景観を良くしてもらいたい。
- ・設問が都合よすぎる。
- ・自己中心の考え方の強い今の社会では、水辺の活用は河川を汚すことになるので必要ない。
- ・標茶市街のように河川公園として整備され町民に有効利用されていたり、塘路～茅沼間の河川のように釣人や動植物の研究者及びカメラマンにとっての場所というように、地区の状況によって活用すべきで、一元的な方向性は必要ない。
- ・人的開発・活用はあまり望みません。
- ・なにもいりません。とにかく静かにしておいてあげましょう。いいも悪いもなるようにならないません。
- ・ありのままの姿で保存するのがいいと思う。
- ・必要以上に手を加えない方が良いと思います。
- ・ある程度は自然のままに。

- ・あまり金をかけないで下さい。
- ・大規模な施設よりも、少しでも多くの魚たちが安心していれるような川にしてほしい。
- ・市街地周辺での広場、公園の維持と管理。
- ・湿原には手を加えないのが望ましいと思っています。
- ・今のまま自然を残して余り人が立入らぬようにしたい。
- ・トイレの整備。
- ・但し自然を壊さない程度 1ヶ所位。
- ・立ち入り制限の強化。
- ・活用を考えるより自然に近い状態で残ることを考えて下さい。
- ・“とりあえず人を呼ぶ”的な営利に基づく事は行なうべきではない。
- ・個人々の自然との共存を教育してほしい。
- ・活用などと考えず、自然のままにしておく。

(5) 鉄路川を子供たちの身近な自然体験の場にしたいと考えています。あなたが川を利用して子供たちに学ばせたいことは何ですか。以下のの中から2つ選んでください。

- a キャンプやカヌーなど水辺で遊ぶことにより、自然の楽しさを体験させたい
- b 水辺で遊ぶことにより、水の流れの速さ・強さを実感させたい
- c 水辺の生き物の観察や調査により、自然のしくみを学ばせたい
- d 水辺の植樹やゴミひろいなどの活動を体験させたい
- e その他

次代を担う子供たちには、ゴミ拾い体験等も含めて、鉄路湿原等の貴重な自然の大切さを理解させてやりたいと考える回答者が多い。



■『その他』の内容

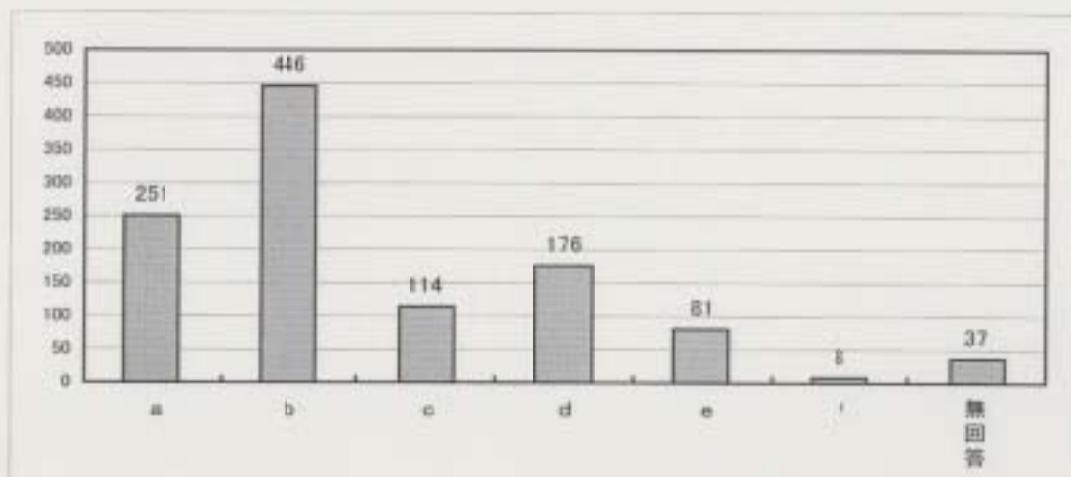
- ・わかりません。
- ・キャンプやカヌーなど水辺で遊ぶことにより、自然の楽しさを体験させると同時に、環境保全についても体験させて欲しいと思います。（ゴミ拾い等）
- ・河川敷の樹木は洪水のもとになるの認識から、「植林をする」の項目が出てこないのでないだろうか。堤防敷に植林することは、保全の重要な対策の1つと考えられるのだが。
- ・自然保護。
- ・川（水面）の夕日の美しさ。
- ・3つにしたいので。
- ・整備しすぎて危険を忘れるような対応には反対。
- ・川の環境の変化による自然・生態系へ及ぼす影響、自然を守る必要性。
- ・本当の自然の恐ろしさ。・自然の厳しさを実感出来る事。

5. 銀河川のあるべき姿について

(1) 現在、河川を整備する際には、洪水がおきないようにする、自然環境を守る、人々の憩いの場にする、などあらゆる側面から事業を行っていますが、あなたが考える重要度の高いものを以下のなかから2つ選んでください。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| a 洪水に対して安心できる川づくり | d 子供が安全に川と接することのできる川づくり |
| b 魚・鳥・植物などがある自然豊かで水質のきれいな川づくり | e 地域の活性化につながる、人の集まる場としての川づくり |
| c みんなの憩いの場となる施設の整った川づくり | f その他 |

魚や鳥、植物などの自然が豊かで水質のきれいな川づくりへの期待が非常に大きく、洪水に対する安全な川づくりを大きく上回る。



■『その他』の内容

- ・より自然のままにする。
- ・何も手をつけないで、衛生環境のみの整理。
- ・できるだけ自然を保つため、カヌー等の乗り入れ禁止。
- ・人が集まる事によって自然が壊れる。自然のままに。
- ・動物達に迷惑をかけないようにし、きれいな川作り。
- ・自然を一番に重視してほしい。
- ・あまり手を加えず、自然を守るべき。
- ・景色が心に残るような川づくり。
- ・自然とは人がつくり出すものではありません。あるがままが自然だと思います。
- ・あまり川づくりしないで、そのままに銀河川を残してほしい。

自由回答のまとめ

1. 銀路川の将来像についての意見

銀路川流域は、地域住民にとっての故郷であるという愛着や豊かな自然が残る日本の貴重な財産であるという認識が強く、基本的には手を加えず、蛇行の美しい川の原型を保全することが指向されている。護岸等、既に整備されている部分についても、原風景を想わせる姿への再生が期待されている。

また、銀路川は、人間生活も含めて多くの動植物を育む母なる川であると考えられており、水がきれいな川ということも一つの将来像になっている。

2. 銀路川の整備方向に関する意見

自然への配慮に欠く従来の開發や整備への反省から、地球的視野にたった生態系の保全と流域住民の安全な暮らしの実現という相反する方向の調和に最も大きな関心があり、最低限の安全性が保障されることを前提に、前者を重視するべきとする意見が多く出されている。

自然界との調和を図るための方法としては、開発する場所と保全する場所との明確な使い分けや、避難情報等のソフト施策の展開に重点をおくなどの具体的なアイディアが挙げられている。

また、総合的な観点からの川づくりを実践するためには、河川行政のみならず、地域住民のニーズやその他関連する事業・施策等を含めた一体的な検討が必要であるという指摘もある。

3. 今後の治水対策に対する意見

銀路川流域の保水力の低下による洪水の発生や湿地の乾燥化等が懸念されている。

これらの根本的な解決に向けての主な取り組みとしては、上流や支流域における農地開発等のために伐採された森林等の再整備や、直線化された河川のもとの形態への修復等、が具体的に挙げられている。

また、これらの実現のためには、市町村、北海道、国そして地域が一体となつた治水対策への取り組みの必要性が指摘されている。

4. 河川環境の整備・保全に対する意見

地球環境的な視点から現存する自然環境を保存してゆくことが指向される一方、大河川であるがゆえに子供から高齢者までが水辺に親しめるような河川環境整備への期待は大きく、特に次代を担う子供たちの自然観察等を通じた環境教育の場として注目されている。

また、市街地部におけるコンクリート護岸の縁豊かな多自然型護岸への再整備や、糞尿処理の規制やゴミや空き缶などの投げ捨ての防止、ヘドロの回収等による水質の向上、RV車、カヌー等の乗り入れ規制等による生態系の保全、その他桜並木の植樹等による河川景観の向上、魚道の確保等、多方面にわたる意見・提案等が出されており、流域住民にとっての関心の高さが伺える。

流域住民の自然環境に対するモラルを向上させるようなPR活動の必要性も挙げられている。

5. その他

このようなアンケートの主旨を従来の河川行政からの転換と評価する意見がある一方、流域住民の意向が反映されなかつた従来の河川整備プロセスへの不満や、縦割り行政の限界、統計的処理への不安、現場主義のすすめなど、河川行政全般への不信感も伺われる。

これらの意見は、総じて銀路川という地域の財産や生活と密着した自然への愛着が背景にあり、地域性に即した河川整備の実現への強い想いの現れであると考えられる。

旧釧路川に関するアンケート調査

平成11年

北海道釧路土木現業所

1. 調査概要

(1) 調査目的

北海道釧路市本現業所では釧路市等の協力を得ながら、地域の人々に親しまれるより良い川づくりを目指して「旧釧路川ふるさとの川整備事業」に関する整備計画の策定作業を進めている。

「旧釧路川に関するアンケート調査」は、地域住民の身近な存在である当該河川について、川に対する意識や考え方、利用のされ方、要望等について探り、今後の川づくり計画策定の指針を得ることを目的とする。

(2) 調査内容・方法

① 調査内容

『旧釧路川小学生絵画コンクール』会場への入場者を対象に、下記の設問内容によるアンケート調査票を作成し、旧釧路川に対する関心やイメージ、川づくりに対する考え方についての調査を行った。

アンケート調査項目の整理

質問番号	質問事項	質問事項の詳細
質問 1	回答者の属性	1-1. 性別・年齢 1-2. 職業・居住地 1-3. 居住年数 1-4. 定住意識 1-5. 家族構成
質問 2	旧釧路川への関心	2-1. 旧釧路川への関心 2-2. 過去の洪水の認知 2-3. 原体験の内容 2-4. 原体験の年齢
質問 3	イメージ	イメージ項目（30項目）の5段階評価
質問 4	旧釧路川周辺環境の満足度	旧釧路川の環境に関する項目の5段階評価 ・快適性（6項目）・地域の総合面（6項目）
質問 5	余暇活動全般	5-1. 余暇活動の場所 5-2. 頻度 5-3. 同伴者 5-4. 活動内容 5-5. 交通手段
質問 6 (6-1)	整備時の重点項目	旧釧路川に必要な整備11項目の5段階評価
（6-2）	整備要望施設	今後の旧釧路川の整備に向けた施設要望10項目の複数回答
質問 7	自由意見	自由に意見を記載（施設整備のアイディア）

② 調査方法

1) 調査実施時期

平成11年 9月11日～平成11年 9月17日

2) 調査対象

主に絵画コンクール関係者及び会期中の入場者

3) 調査方式

期間中会場にアンケート用紙を常設し、その場でご回答頂いた。

4) 回収結果

回収数：81

2. 調査結果

(1) 質問1：回答者の属性

本調査では、回答者の属性を把握するため、①性別・年齢階層、②職業・居住地、③居住年数、④定住意識、⑤家族構成の大きく5項目に分けて行った。

①性別・年齢

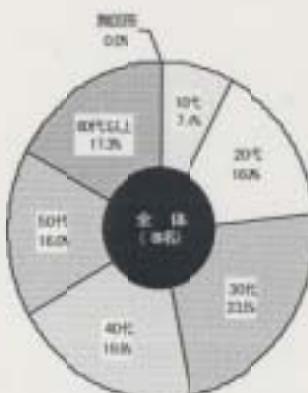
1) 性別

	回収票数	構成比(%)
男性	44	54.3
女性	37	45.7
無回答	0	0.0
計	81	100.0



2) 年齢階層

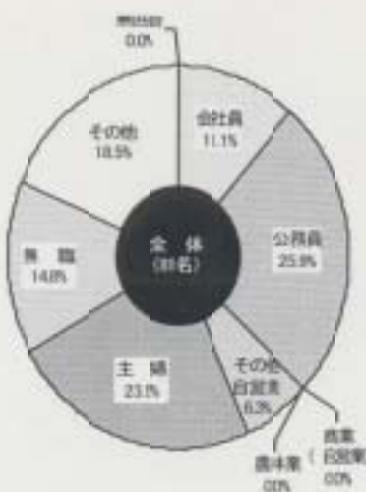
	回収票数	構成比(%)
10代	6	7.4
20代	13	16.0
30代	19	23.5
40代	15	18.8
50代	13	16.0
60代以上	14	17.3
無回答	0	0.0
計	81	100.0



②職業・居住地

1) 職業

	回収票数	構成比(%)
会社員	9	11.1
公務員	21	25.9
農林業	0	0.0
商業(自営業)	0	0.0
その他自営業	5	6.2
主婦	19	23.5
無職	12	14.8
その他	15	18.5
無回答	0	0.0
計	81	100.0



2) 居住地

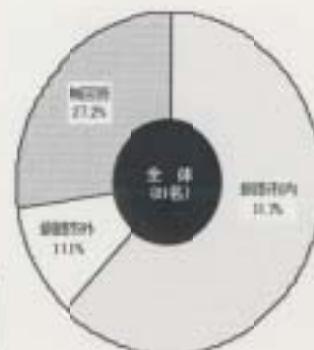
	回収票数	構成比(%)
鉄路市内	50	61.7
鉄路市外	9	11.1
無回答	22	27.2
計	81	100.0

●鉄路市内

爱国町 梁町 芦野町 美部町 貝塚町 柏木町 川上町 川北町
共栄大通町 寿町 幸町 桜ヶ岡町 春琴町 昭和町 白樺台町
城山町 新鉄路町 住吉町 宝町 武佐町 千代町 鳥取町 箕舞
町 緑ヶ岡町 宮本町 韶町

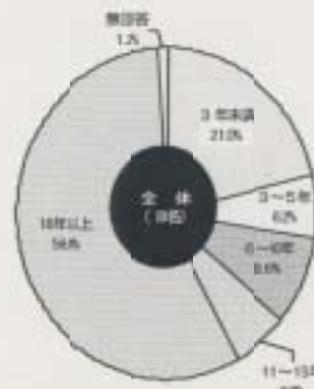
●鉄路市街

(原岸町 鉄路町 標茶町)



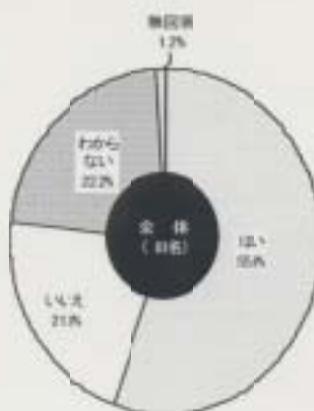
③居住年数

	回収票数	構成比(%)
3年未満	17	21.0
3~5年	5	6.2
6~10年	7	8.6
11~15年	5	6.2
16年以上	46	56.8
無回答	1	1.2
計	81	100.0



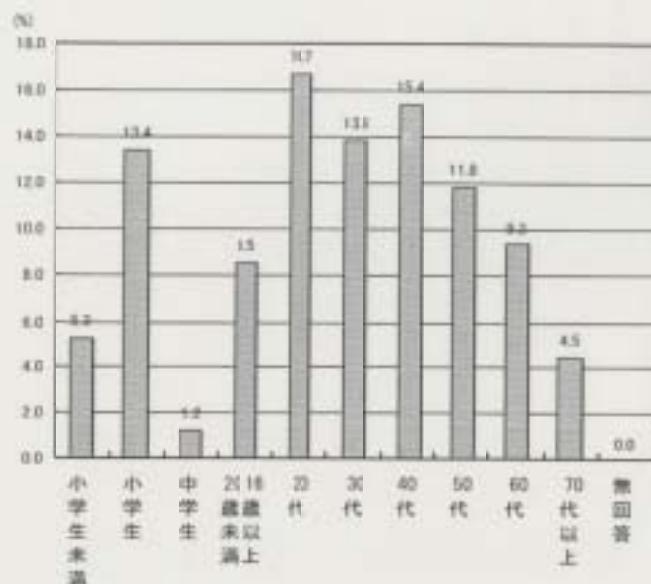
④定住意識（この地に住み続けたいか）

	回収票数	構成比(%)
はい	45	55.6
いいえ	17	21.0
わからない	18	22.2
無回答	1	1.2
計	81	100.0



⑤家族構成

	回答数	構成比(%)
小学生未満	13	5.3
小学生	33	13.4
中学生	3	1.2
15歳以上20歳未満	21	8.5
20代	41	16.7
30代	34	13.8
40代	38	15.4
50代	29	11.8
60代	23	9.3
70代以上	11	4.5
無回答	0	0.0

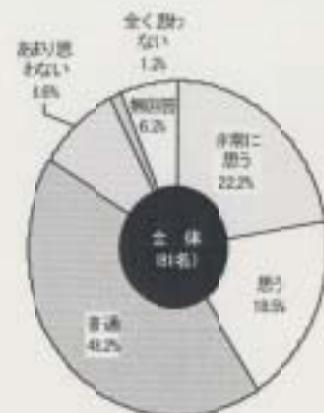


(2) 質問2：旧釧路川への関心

①「川」についての関心度・経験について

「あなたは旧釧路川について感心が高いと思いますか？」の問い合わせに対して「非常に思う（22.2%）」、「思う（18.5%）」と答えた人が合計で33名（40.7%）いる反面「あまり思わない（8.6%）」、「全く思わない（1.2%）」と答えた人が合計で8名（9.8%）いた。

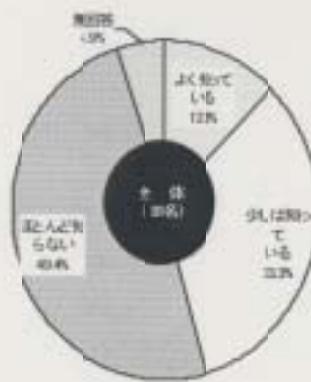
	回収票数	構成比(%)
非常に思う	18	22.2
思う	15	18.5
普通	35	43.2
あまり思わない	7	8.6
全く思わない	1	1.2
無回答	5	6.2
計	81	1000



②洪水の歴史の認知について

「旧釧路川で過去にあった洪水についてあなたはご存知ですか？」との問い合わせに約半数の人が「ほとんど知らない（49.3%）」と答えている。

	回収票数	構成比(%)
よく知っている	10	12.3
少しあつたまっている	27	33.3
ほとんど知らない	40	49.4
無回答	4	4.9
計	81	1000

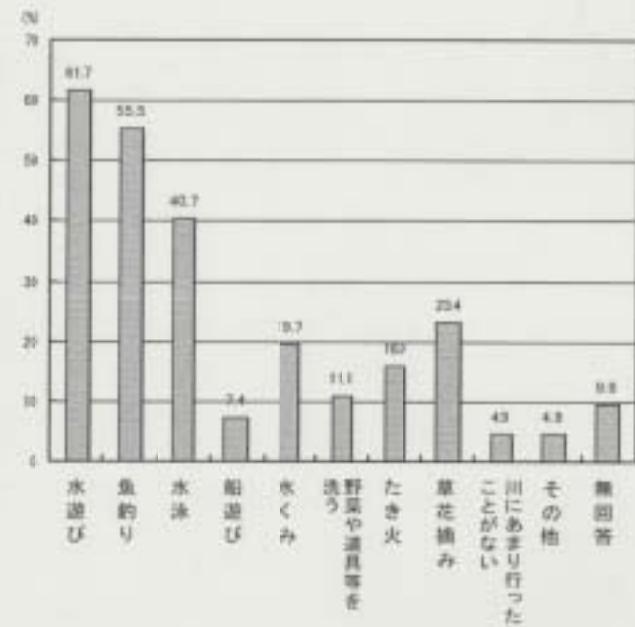


③川での原体験（複数回答）

旧鶴路川及びその他の河川で子供の頃に行った遊び（原体験）として「水遊び（61.7%）」、「魚釣り（55.5%）」次いで「水泳（40.7%）」の順となっている。

その他の中には「虫採り」、「花火」、「露採り」などの回答があった。

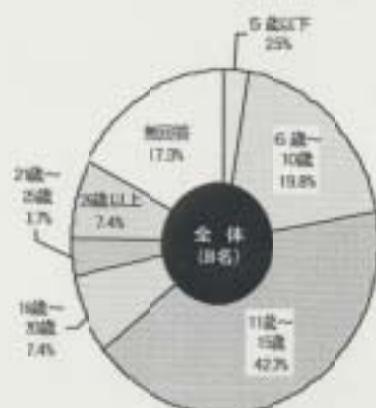
	回答数	構成比(%)
水遊び	50	61.7
魚釣り	45	55.5
水泳	33	40.7
船遊び	6	7.4
水くみ	16	19.7
野菜や道具等を洗う	9	11.1
たき火	13	16.0
草花摘み	19	23.4
川にあまり行ったことがない	4	4.9
その他	4	4.9
無回答	8	9.9



④体験年齢

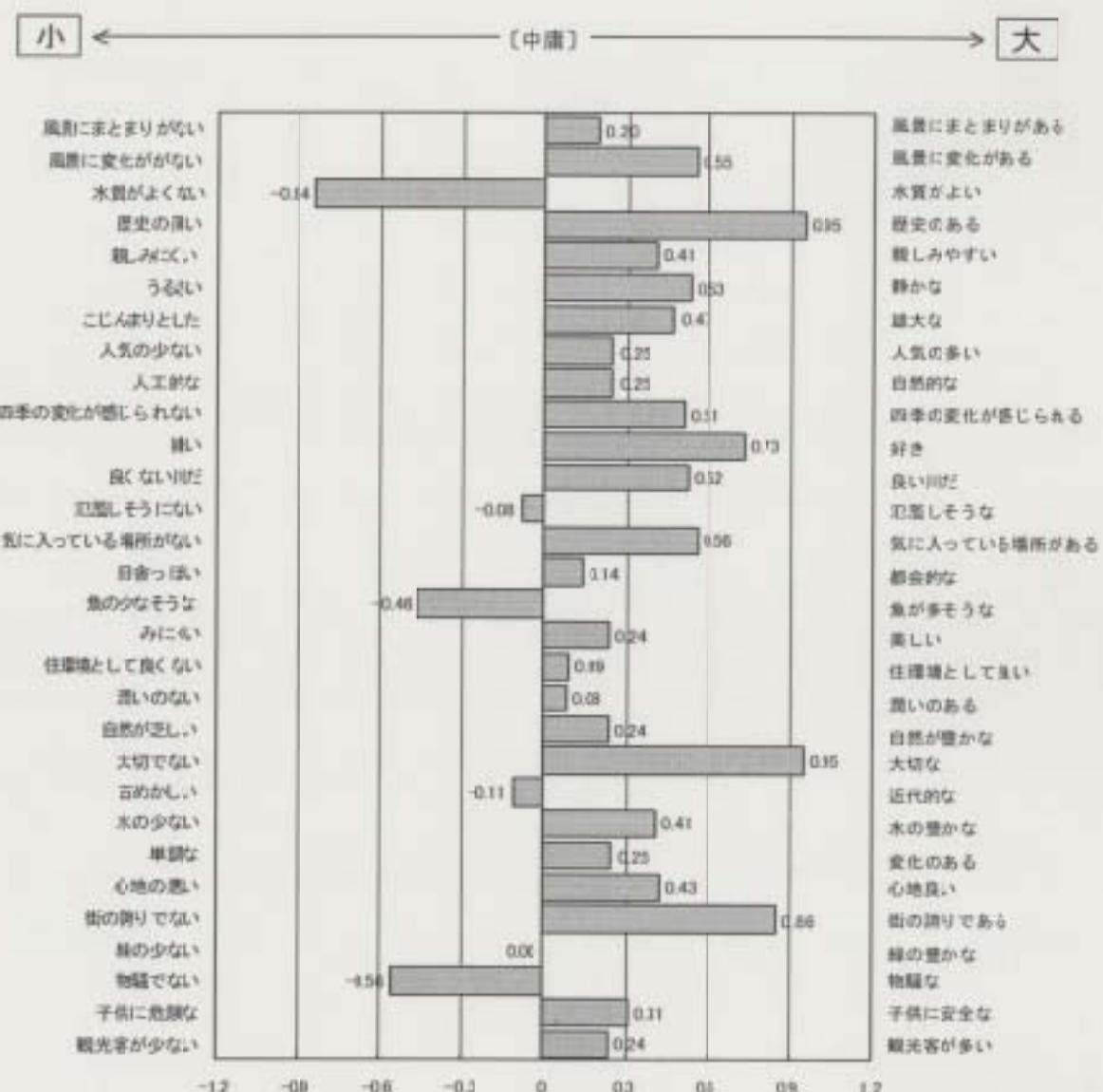
旧鶴路川での体験年齢は、「11歳～15歳（42.0%）」が最も多く、次いで「6歳～10歳（19.8%）」となっている。

	回収票数	構成比(%)
5歳以下	2	2.5
6歳～10歳	16	19.8
11歳～15歳	34	42.0
16歳～20歳	6	7.4
21歳～25歳	3	3.7
26歳以上	6	7.4
無回答	14	17.3
計	81	100.0



(3) 質問3：旧釧路川のイメージ

旧釧路川のイメージについて見ると「大切な」、「まちの誇り」、「好き」をはじめ、ほとんどの項目でプラスイメージの評価を得ている。マイナスイメージとしては、「水質が良くない」、「物騒でない」、「魚が少なそうな」、「古めかしい」、「氾濫しそうな」に見られる。



注) 評価基準の内、プラス評価の非常にそう思う「+2」、ややそう思う「+1」、マイナス評価の非常にそう思う「-1」、ややそう思う「-1」、どちらとも言えない「0」として点数を表し、それを回答数で割った値

(4) 質問4：旧釧路川周辺環境の満足度

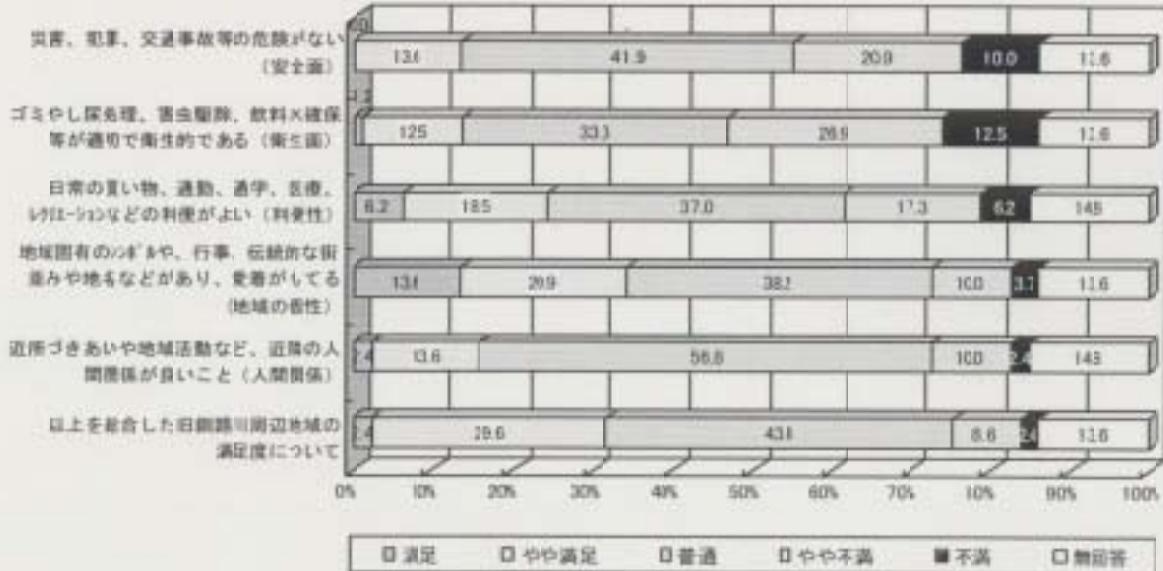
①快適性について

「空気のきれいさについて」満足・やや満足と合わせて 14.5% の人がプラスの評価をしているものの、「緑の豊かさ」については、33.1% の人がやや不満・不満の回答をしている。総合的に見ると満足・やや満足とする回答がマイナス評価を上回る結果となっている。



②地域の総合面について

災害、犯罪、交通事故等の安全面、ゴミ処理、害虫駆除等の衛生面でやや不満・不満のマイナス回答が多い傾向にある。他は日常の買物・通勤・通学の利便性などは、ほぼ評価が分かれ、地域の個性、人間関係、総合的な満足度はプラス評価が上回っている。

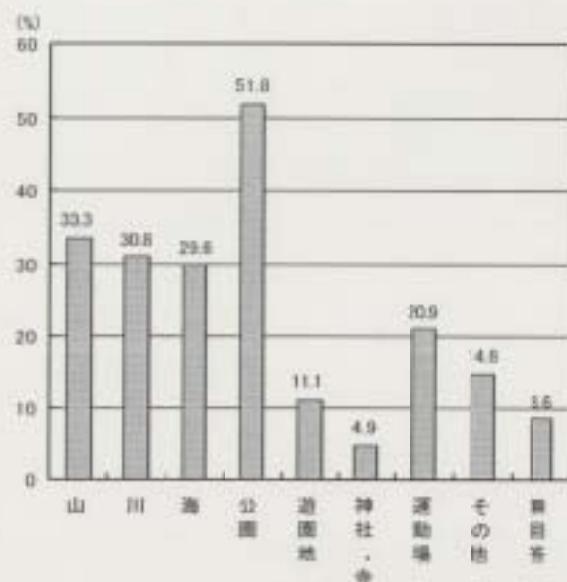


(5) 質問5：余暇活動全般

① 行き先（複数回答）

「公園（51.89%）」と最も多く、「次いで山（33.3%）」、「川（30.8%）」、「海（29.6%）」の順となっている。

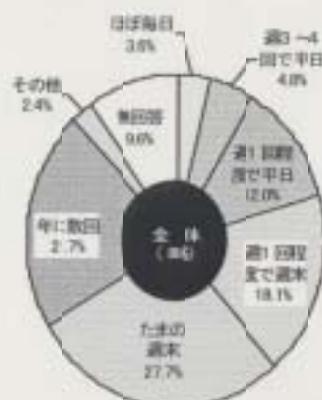
	回答数	構成比(%)
小学生未満	13	5.3
小学生	33	13.4
中学生	3	1.2
16歳以上20歳未満	21	8.5
20代	41	16.7
30代	34	13.8
40代	38	15.4
50代	29	11.8
60代	23	9.3
70代以上	11	4.5
無回答	0	0.0



② 余暇活動の頻度

「たまの週末（28.4%）」と答えた人も最も多く、次いで「年に数回（20.0%）」、「週1回程度で週末（18.5%）」、「週1回程度で平日（12.3%）」の順となっている。

	回収票数	構成比(%)
ほぼ毎日	3	3.6
週3～4回で平日	4	4.8
週1回程度で平日	10	12.0
週1回程度で週末	15	18.1
たまの週末	23	27.7
年に数回	18	21.7
その他	2	2.4
無回答	8	9.6
計	83	100.0



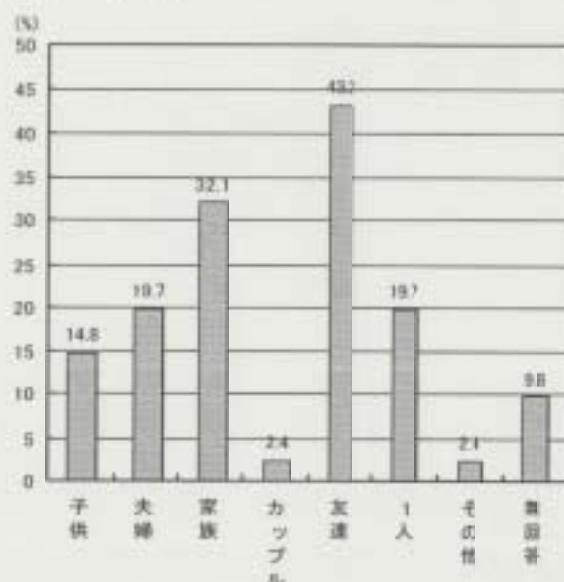
※1名で2項目の○印を付けたものがあるため、回収票数が83となっている。

③余暇活動の同伴者（複数回答）

余暇活動の同伴者としては、「友達（43.2%）」が最も多く、次いで「家族（32.1%）」、「夫婦（19.7%）」、「1人（19.7%）」の順となっている。

その他は「両親」や「ボランティアの仲間」となっている。

	回答数	構成比(%)
子供	12	14.8
夫婦	16	19.7
家族	26	32.1
カップル	2	2.4
友達	35	43.2
1人	16	19.7
その他	2	2.4
無回答	8	9.8

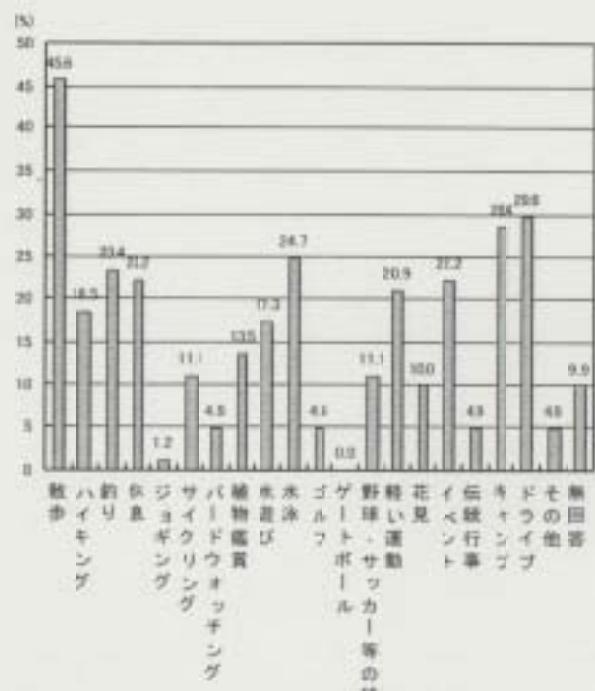


④活動内容（複数回答）

余暇活動の内容で最も多いのが「散歩（45.6%）」であり、次いで「ドライブ（29.6%）」、「キャンプ（28.4%）」、「水泳（24.7%）」、「釣り（23.4%）」、「軽い運動（20.9%）」の順になっている。

その他として、「登山」、「テニス」、「パークゴルフ」、「温泉」があげられている。

	回答数	構成比(%)
散歩	37	45.6
ハイキング	15	18.5
釣り	19	23.4
休憩	18	22.2
ジョギング	1	1.2
サイクリング	9	11.1
バードウォッキング	4	4.9
植物鑑賞	11	13.5
水遊び	14	17.3
水泳	2	24.7
ゴルフ	4	4.9
ゲートボール	0	0.0
野球・サッカー等の球技	9	11.1
軽い運動	17	20.9
花見	8	10.0
イベント	18	22.2
伝統行事	4	4.9
キャンプ	23	28.4
ドライブ	24	29.6
その他	4	4.9
無回答	8	9.9

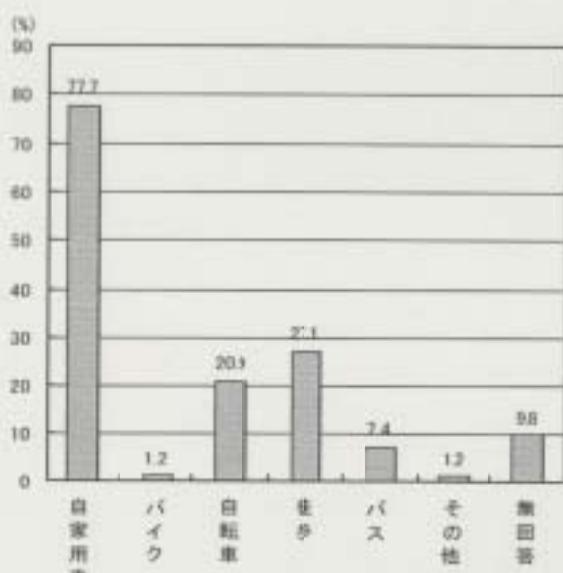


⑤交通手段（複数回答）

余暇活動の交通手段としては、「自家用車（77.7%）」と最も多く、次いで「徒歩（27.1%）」「自転車（20.9%）」「バス（7.4%）」の順になっている。

その他は「JR」である。

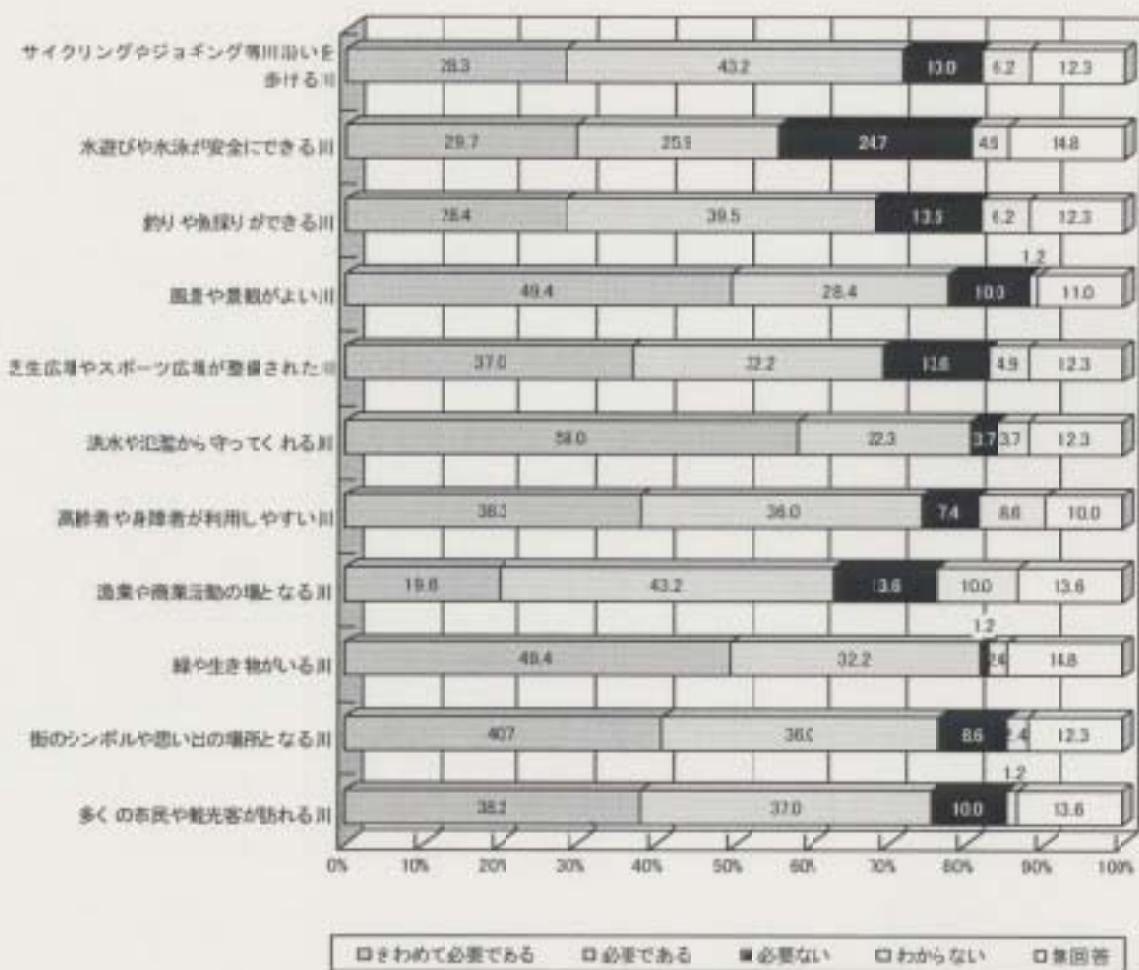
	回答数	構成比(%)
自家用車	63	77.7
バイク	1	1.2
自転車	17	20.9
徒歩	22	27.1
バス	6	7.4
その他	1	1.2
無回答	8	9.8



(6) 質問6：整備時の重点項目・要望施設

① 整備時の重点箇所

整備時の重点項目として、「洪水や氾濫から守ってくれる川（きわめて必要である58.0%、必要である22.3%）」と「緑や生き物がいる川（きわめて必要である49.4%、必要である32.2%）」、「風景や景観が良い川（きわめて必要である49.4%、必要である18.4%）」、さらに、「高齢者や身障者が利用しやすい川（きわめて必要である38.3%、必要である36.0%）」、「街のシンボルや思い出の場となる川（きわめて必要である40.7%、必要である36.0%）」、「多くの市民や観光客の訪れる川（きわめて必要である38.2%、必要である37.0%）」などが多く選ばれている項目としてあげられる。

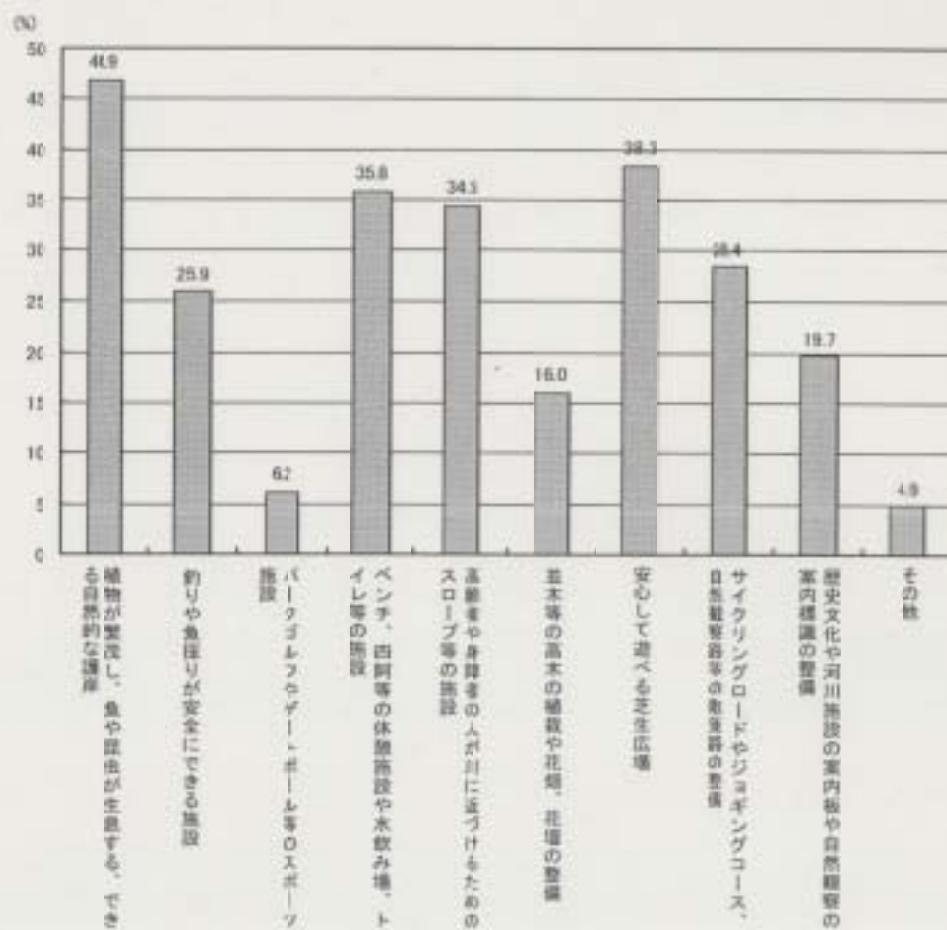


②整備要望施設（複数解答）

整備を要望する施設としては、「植物が繁茂し、魚や昆虫が生息する、できる自然な護岸（46.9%）」と最も多く、次いで「安心して遊べる芝生広場（38.3%）」、「ベンチ、四阿等の休息施設や水飲み場、トイレ等の施設（35.8%）」、「高齢者や身障者の人が川に近づけるためのスロープ等の施設（34.5%）」の順となっている。

また、その他の中には「あまり手を加えないではしい」「利用目的の整備は控えめにすべき」などの意見があった。

	回答数	構成比(%)
植物が繁茂し、魚や昆虫が生息する、できる自然的な護岸	38	46.9
釣りや魚探りが安全に出来る施設	21	25.9
パークゴルフやゲートボール等のスポーツ施設	5	6.2
ベンチ、四阿等の休息施設や水飲み場、トイレ等の施設	29	35.8
高齢者や身障者の人が川に近づけるためのスロープ等の施設	28	34.5
並木等の高木の植栽や花壇、花壇の整備	13	16.0
安心して遊べる芝生広場	31	38.3
サイクリングロードやジョギングコース、自然観察路等の散策路の整備	23	28.4
歴史文化や河川施設の案内板や自然観察の案内標識の整備	16	19.7
その他	4	4.9



(7) 質問7：自由意見

旧釧路川に関する施設整備のアイディア・意見として以下のような提言があった。

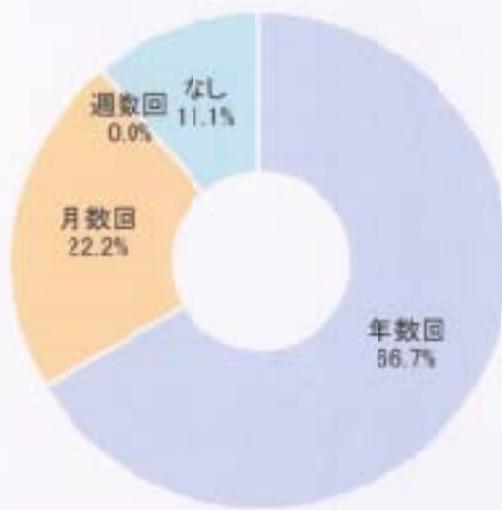
- ・旧釧路川の名称を“釧路川”と改名してほしい。
- ・幣舞橋の塗装の色を色々と考えてほしい。又、漁船が邪魔にならないようにしてほしい。
- ・ススキ野原
- ・子供がいるため、安心して近づける綺麗で安全な広々としたくつろぎの空間が出来たら素敵だと思う。
- ・水鳥や植物などが集い、子供達が安全に遊ぶ事のできる、できるだけ自然を多く残した新緑な川にしてほしい。
- ・温泉
- ・氾濫を防止するために整備することも必要であるが、生態系の保全為にも自然のままの川も残してほしい。
- ・もう少し水流が多いほうが水が汚れなくて良い。
- ・幅広い年齢層が遊べる施設や障害者の人も安心して遊べる施設が必要である。自然を大切にしたい。
- ・釧路市民にとって釧路川は身近かであり、シンボルの上うなものである為、いつまでも美しさを損なわず、整備も自然を活かしたものにしてほしい。
- ・高齢者や身障者の方が、足を入れたり手を触れたりできるような整備をお願いしたい。
- ・岩保木水門を開け蛙が週上する川にする。遊び場として小さなクリークを末広などに引く。河岸の一部をモール街、レストランとして利用する。（末広に面した部分が良いが、漁船の船着場とどう折り合いをつけるかが問題）
- ・付帯施設として何年未となく言われている水族館は一体どうなったのか。子供達のためにも市立・道立問わず出来ることを望む。
- ・市外からきた友人は旧釧路川を大変気に入っていたが、私としては活気がないように思うので、もっと漁業ができるよう（活気ができるよう）綺麗にする活動をしてほしい。子供達の絵は見ていて楽しく、川と生活が釧路の子供達と結びついているのだと思った。
- ・物を作ることだけが土木の仕事ではない。洪水被害時のこと考慮したうえで、昔の川がどうであったかということを考えて整備すべきである。昔の川に戻す努力を望む。
- ・市民の言葉に耳を傾けてくれれば良い。
- ・子供が自然の川の流れに触れ、素足で歩ける場所が必要である。自然の力を足から覚えてほしい。
- ・霧の都釧路に沿って整備されると良い。
- ・整備も大切だと思うが、一人一人がゴミを捨てない等のマナー意識を確立出来る様なものにしてほしい。具体的には思いつかないが、汚したら閉鎖（一定期間）するなどの厳しい対応も必要ではないかと思う。
- ・旧釧路川の名称を「釧路川」とし、釧路川の名稱を「新釧路川」とする。岩保木水門の限定期間通水をしてほしい。

集計結果

質問1：旧釧路川河畔の利用頻度について

「これまで、釧路川の河畔にはどの程度訪れていましたか？」の問に対して「年数回」との回答が66.7%と最も多く、次いで「月数回」が22.2%となっており、「なし」の回答も11.1%あった。

	回収票数	構成比
年数回	24	66.7%
月数回	8	22.2%
週数回	0	0.0%
なし	4	11.1%
無回答	0	0.0%
計	36	100.0%

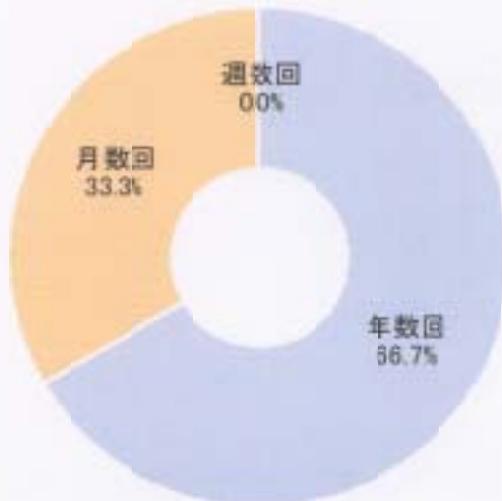


質問2：今後の河畔の利用頻度について

「新しく釧路川の水辺にプロムナード（遊歩道）が整備されました。今後どの程度訪れたいと思いますか？」の問に対しての問に対して「年数回」との回答が66.7%と最も多く、次いで「月数回」が33.3%となっており、「週数回」との回答は0.0%となった。

また、約7割が整備前（質問1）と整備後（質問2）での利用頻度は変わらない（同じ傾度を選択）という結果となった。

	回収票数	構成比
年数回	24	66.7%
月数回	12	33.3%
週数回	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	36	100.0%



質問3：プロムナードの各施設について

「今回、このプロムナードを利用されてみていかがでしたか？」という間に對しては以下のようない回答が得られた。

1. 館装について

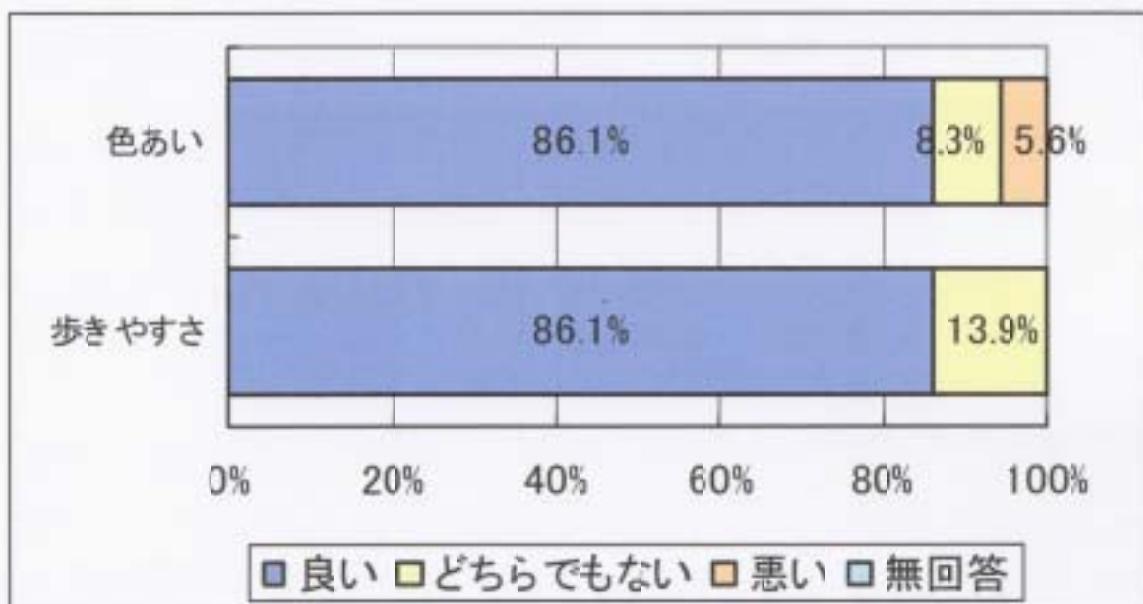
色あい、歩きやすさともに「良い」との回答が9割近くを占めており、逆に「悪い」との回答はごく少数となっている。

・色あい

	回収票数	構成比
良い	31	86.1%
悪い	2	5.6%
どちらでもない	3	8.3%
無回答	0	0.0%
計	36	100.0%

・歩きやすさ

	回収票数	構成比
良い	31	86.1%
悪い	0	0.0%
どちらでもない	5	13.9%
無回答	0	0.0%
計	36	100.0%



2. 広場について

広場の景観に関して「良い」と回答が9割近くを占めており、逆に「悪い」との回答はごく少数となっている。

	回収票数	構成比
良い	31	86.1%
悪い	2	5.6%
どちらでもない	2	5.6%
無回答	1	2.8%
計	36	100.0%



3. 階段について

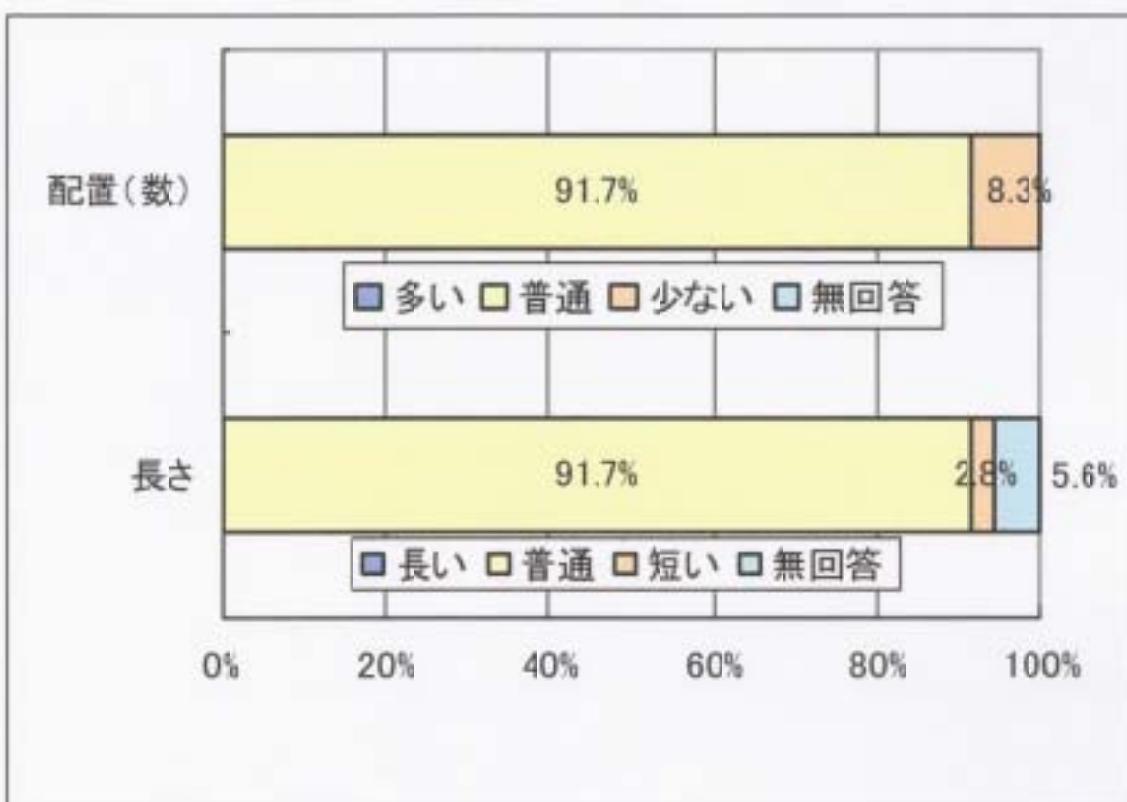
配置（数）、長さともに「普通」との回答が9割を超えており、また、ごく少數であるが、「少ない」、「短い」との回答も得られた。

・配置（数）

	回収票数	構成比
多い	0	0.0%
少ない	3	8.3%
普通	33	91.7%
無回答	0	0.0%
計	36	100.0%

・長さ

	回収票数	構成比
長い	0	0.0%
短い	1	2.8%
普通	33	91.7%
無回答	2	5.6%
計	36	100.0%



4. テラスについて

配置（数）、長さともに「普通」との回答が9割近くを占めているが、配置（数）について「少ない」との回答も1割以上あった。

・配置（数）

	回収票数	構成比
多い	0	0.0%
少ない	5	13.9%
普通	31	86.1%
無回答	0	0.0%
計	36	100.0%

・長さ

	回収票数	構成比
長い	0	0.0%
短い	1	2.8%
普通	32	88.9%
無回答	3	8.3%
計	36	1000%



5. ベンチウォールについて

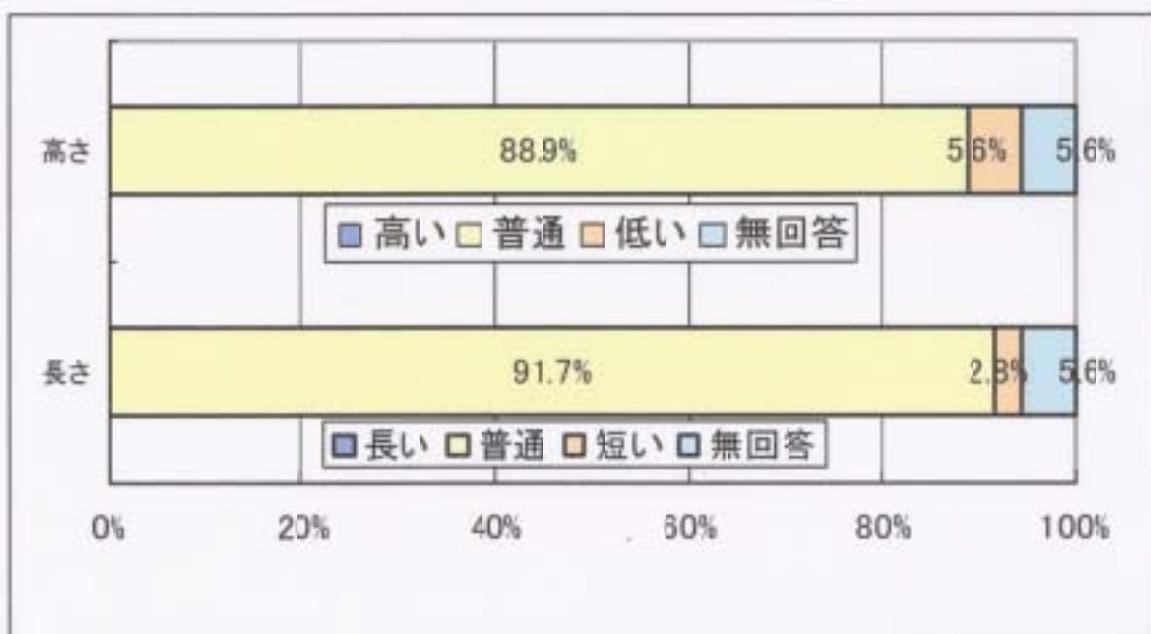
高さ、長さとともに「普通」との回答が9割近くを占めている。

・高さ

	回収票数	構成比
高い	0	0.0%
低い	2	5.6%
普通	32	88.9%
無回答	2	5.6%
計	36	100.0%

・長さ

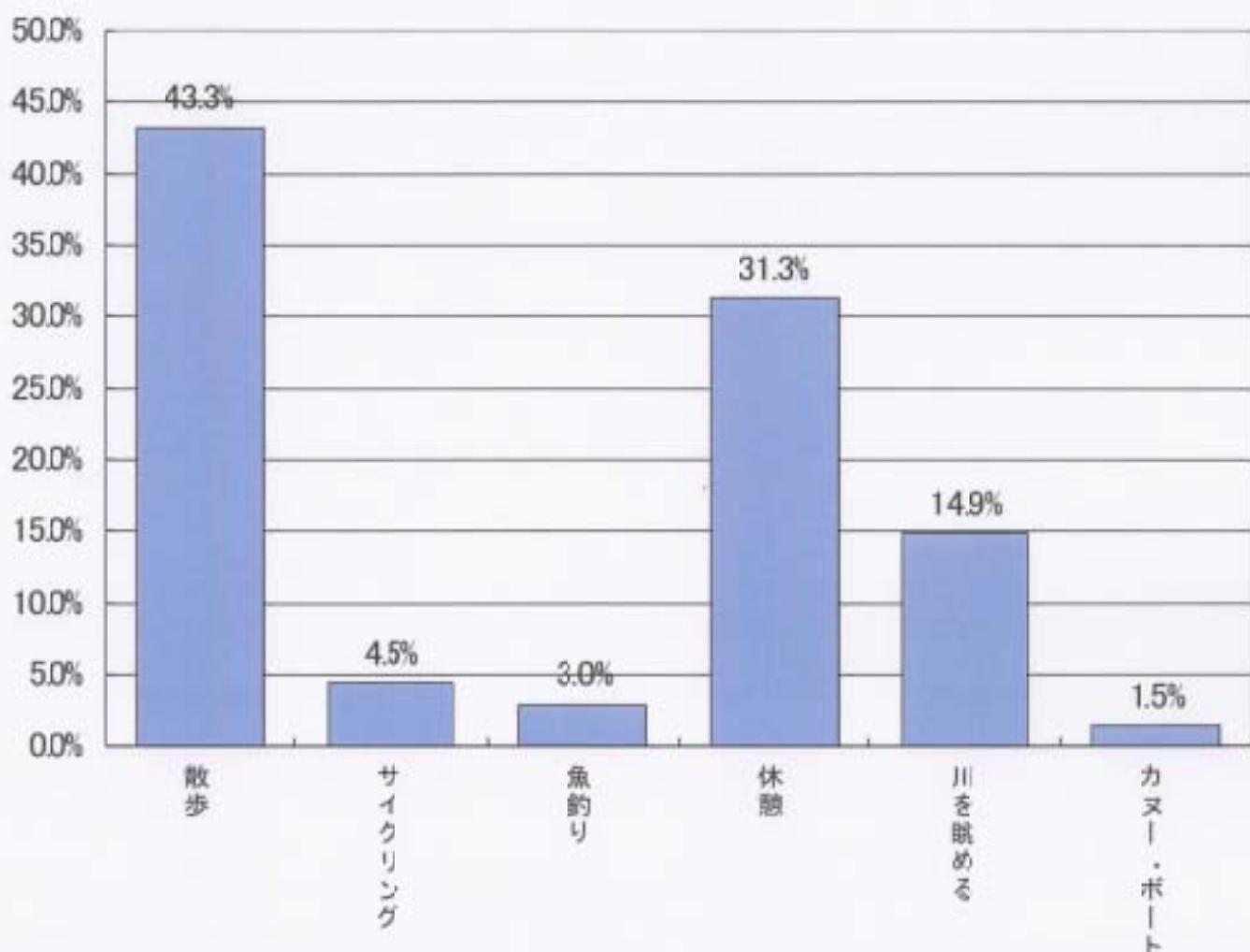
	回収票数	構成比
長い	0	0.0%
短い	1	2.8%
普通	33	91.7%
無回答	2	5.6%
計	36	100.0%



質問4：今後の利用目的について

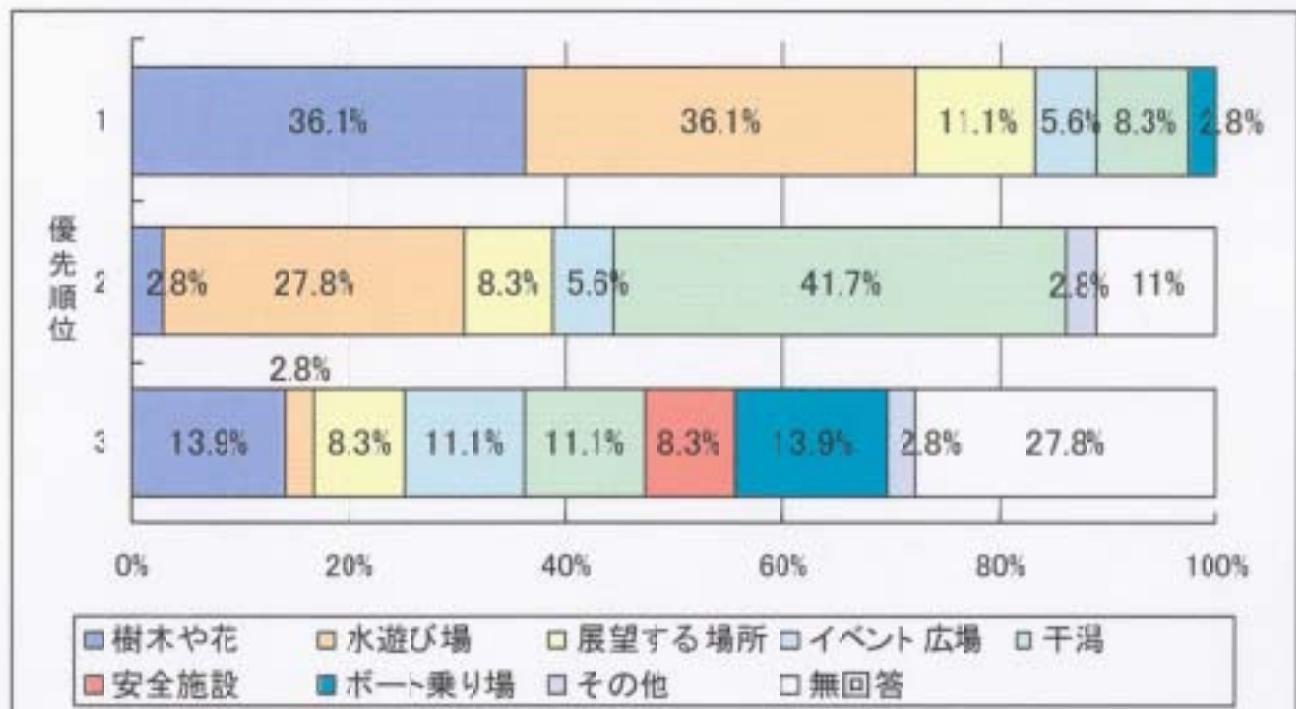
「新しくなった釧路川で、今後どのようなご利用をお考えですか？」の問に対し複数回答を求めたところ「散歩」が43.3%と最も多く、次いで「休憩」が31.3%、「川を眺める」が14.9%となっており、日常的なレクリエーション利用が大半を占めている。

	回収票数	構成比
散歩	29	43.3%
サイクリング	3	4.5%
魚釣り	2	3.0%
休憩	21	31.3%
川を眺める	10	14.9%
カヌーボート	1	1.5%
その他	1	1.5%
計	67	100.0%



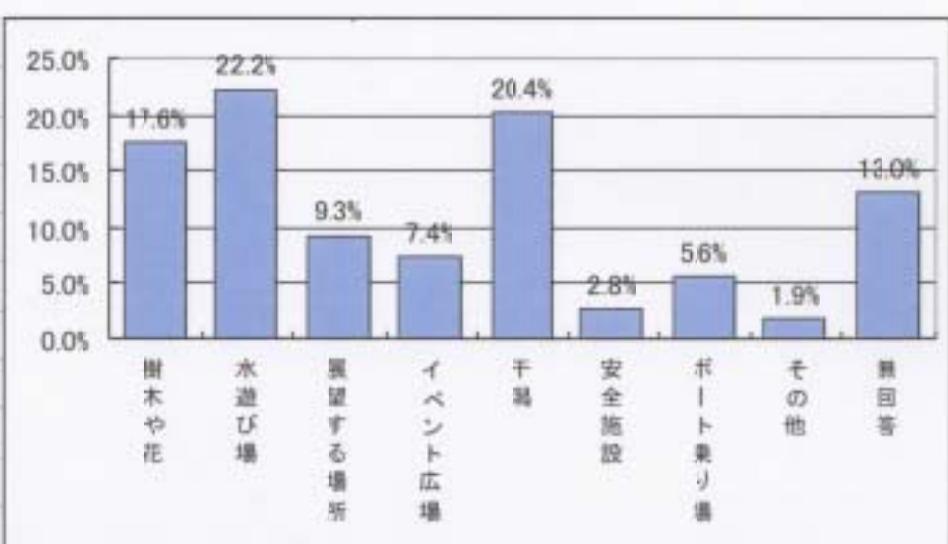
質問5：施設の要望について

「在整備されている施設の中でもどんなものがあれば良いとお考えですか？」の問に対して優先順位をつけて回答して頂いた結果、優先した整備を望む施設として「樹木や花」、「水遊び場」が同率で最も多く、次いで「展望する場所」となっていた。



また、優先順位に関らずみると、最も多いのが「水遊び場」の22.2%、次いで「干渴」の20.4%、「樹木」の17.6%となっている。

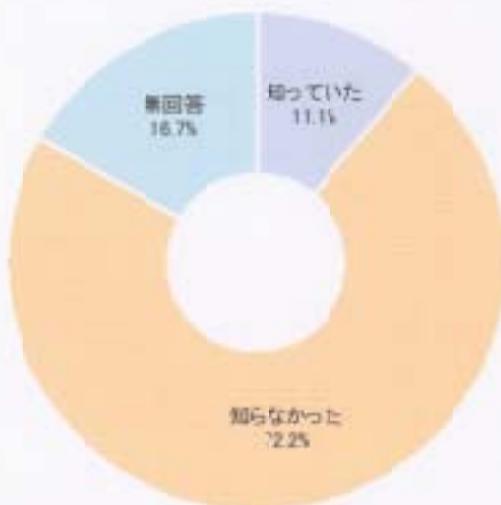
	回収票数	構成比
樹木や花	19	17.6%
水遊び場	24	22.2%
展望する場所	10	9.3%
イベント広場	8	7.4%
干渴	22	20.4%
安全施設	3	2.8%
ボート乗り場	6	5.6%
その他	2	1.9%
無回答	14	13.0%
計	108	100.0%



質問6：推進懇談会について

「作年プロムナード整備に先立ち、住民参加の維持管理や河川空間をどのように活用していくかについての検討を目的とした《ふるさとの川推進懇談会》への参加募集が行われていたことをご存知ですか？」の問に対して約7割の人が知らなかったと回答している。募集案内を釧路市の広報誌とともに配布したにも関わらず認知度がかなり低い結果となった。

	回収票数	構成比
知っていた	4	11.1%
知らなかった	26	72.2%
無回答	6	16.7%
計	36	100.0%



質問7：ご意見

最後に「河川整備に対してのご意見やご要望があれば以下の欄にご自由にお書き下さい。」との間に
対し以下のような意見が寄せられました。

- ・水がきれいになると良い
- ・とてもきれいな川になって良かった
- ・釧路の中心部にステキな場所ができ、子供達と一緒に散歩したい。
- ・安全対策を一番に考え、これからも市民の声を交えた河川整備を願いたい。
- ・毎年、市民による花壇づくりのイベントを行ってはどうか。
- ・小さな子供が遊べる遊具があれば良い。
- ・川に触れて遊べる場所がもっとあると良い。
- ・日陰があると良い。